

注3

大学番号：私118

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

明星大学 デザイン学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明星学苑  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 教務企画課

職名・氏名 キョウムキカクカチョウ 教務企画課長 クマガイ タカシ 熊谷 孝

電話番号 042-591-5212

（夜間） 042-591-5212

F A X 042-591-5940

e-mail gad-eduml@ml.meisei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

デザイン学部

<デザイン学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	29
6. 留意事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	52

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 明星学苑

## (2) 大学名

明星大学

## (3) 大学の位置

〒191-8506  
東京都日野市程久保2丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ モトカズ) 吉田 元一 (平成24年11月22日)		
学長	(オガワ テツオ) 小川 哲生 (平成20年4月1日)	(オオハシ トモヒロ) 大橋 有弘 (平成26年4月1日)	前任者の任期満了のため、平成26年4月1日に変更(26)
学部長	(ニシモト タケミ) 西本 剛己 (平成26年4月1日)		
学科長等	(タナカ ヒサタカ) 田中 久隆 (平成26年4月1日)	(シオノ マリ) 塩野 麻理 (平成29年4月1日)	前任者の任期満了のため、平成29年4月1日に変更(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
デザイン学部 デザイン学科  学士(デザイン学)	美術関係	4年	120人	-年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 ( - ) [ - ]	-	120 ( - ) [ - ]	-	120 ( - ) [ - ]	-	120 ( - ) [ - ]	-	1.06倍	
志願者数	395 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	376 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	350 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	620 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	379 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	361 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	341 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	590 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	239 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	227 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	250 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	314 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	125 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	128 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	127 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	132 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.06		1.05		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] ( - ) 125	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 128	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( - ) 127	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 132	[ - ] ( - ) -	
2年次	/		[ 2 ] ( - ) 123	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 125	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( - ) 122	[ - ] ( - ) -	
3年次			/		/		[ 2 ] (9) 113	[ - ] ( - ) -	[ - ] (10) 121
4年次	/						/		/
計			[ 2 ] ( - ) 125	[ 2 ] ( - ) 251	[ 3 ] (9) 365	[ 2 ] (24) 482			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。



## 2 授業科目の概要

<デザイン学部 デザイン学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 科目	自立と体験 1	1前	2			2	0				兼 1	教育効果向上のため担当者変更(29) (削除) 萩原 修 (教授) 池谷 聡 (准教授) 武藤 努 (准教授) (追加) 渋谷 和良 (教授) 佐々木 果 (教授) 榎本 達彦 (兼任)
						1	2					教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 吉岡 聖美 (准教授) (追加) 武藤 努 (准教授)
												新任教員採用のため担当教員の変更(26) (削除) 塩野 麻理 (教授) 渋谷 和良 (教授) (追加) 萩原 修 (教授) 吉岡 聖美 (准教授)
	哲学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 浜野 喬士 (兼任)
												教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 片山 文保 (兼任) (追加) 村井 則夫 (兼任)
	哲学 2	1・2・3・4後	2								兼 1	教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 片山 文保 (兼任)
												教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 佐々木 昭則 (兼任)
	倫理学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 佐々木 昭則 (兼任)
												教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 山下 善明 (兼任) (追加) 佐々木 昭則 (兼任)
	倫理学 2	1・2・3・4後	2								兼 1	前任教員退職のため担当教員変更(26) (削除) 村山 康男 (兼任) (追加) 山下 善明 (兼任)
												教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 山下 善明 (兼任) (追加) 西村 美香 (兼任)
	論理学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	
	論理学 2	1・2・3・4後	2								兼 1	
	宗教学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	
	宗教学 2	1・2・3・4後	2								兼 1	
	美学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	
												前任教員退職のため担当教員変更(26) (削除) 村山 康男 (兼任) (追加) 山下 善明 (兼任)
	美学 2	1・2・3・4後	2								兼 1	教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 山下 善明 (兼任) (追加) 西村 美香 (兼任)
												教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 山下 善明 (兼任)
	心理学 1	1・2・3・4前	2								兼 1	
心理学 2	1・2・3・4後	2								兼 1		
教育学 1	1・2・3・4前	2								兼 1		
教育学 2	1・2・3・4後	2								兼 1		
倫理学 3	2・3・4前	2								兼 1		
倫理学 4	2・3・4後	2								兼 1		
											教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 山下 善明 (兼任)	
美学 3	2・3・4前	2								兼 1	前任教員退職のため担当教員変更(26) (削除) 村山 康男 (兼任) (追加) 西村 美香 (兼任)	
											前任教員退職のため担当教員変更(26) (削除) 村山 康男 (兼任) (追加) 山下 善明 (兼任)	
美学 4	2・3・4後	2								兼 1		

哲学3	2・3・4前	2				兼 1 前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼担) (追加) 浜野 喬士 (兼担)
哲学4 思想への招待 健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1	2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前・後 1前・後	2 2 2 1				兼 1 兼 1 兼 3 兼 7 教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 笹原 千穂子 (兼担) (追加) 坂本 拓弥 (兼担) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) (削除) 安田 翼 (兼担) (追加) 村岡 慈歩 (兼任)  特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 村岡 慈歩 (兼担) (追加) 安田 翼 (兼任)
健康・スポーツ演習2	2前・後	1				兼 7 教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 笹原 千穂子 (兼担) (追加) 坂本 拓弥 (兼担) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) (削除) 安田 翼 (兼担) (追加) 村岡 慈歩 (兼任)  特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 村岡 慈歩 (兼担) (追加) 安田 翼 (兼任)
健康・スポーツ演習3	3前・後	1				兼 7 教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 笹原 千穂子 (兼担) (追加) 坂本 拓弥 (兼担) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) (削除) 安田 翼 (兼担) (追加) 村岡 慈歩 (兼任)  特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 村岡 慈歩 (兼担) (追加) 安田 翼 (兼任)
健康・スポーツ演習4	4前・後	1				兼 7 教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 笹原 千穂子 (兼担) (追加) 坂本 拓弥 (兼担) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) (削除) 安田 翼 (兼担) (追加) 村岡 慈歩 (兼任)  特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 村岡 慈歩 (兼担) (追加) 安田 翼 (兼任)
外国語(英語) 1A	1・2前	1				兼 5 前任教員退職のため担当者変更(28) (削除) 大島 省子 (兼担) (追加) 河内山 晶子 (兼担)



外国語（英語） 1 B	1・2前	1				兼 5 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) G. O. アデボノジョ (兼任) (追加) J. イングルスルド (兼任)  前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) R. グールド (兼任) (追加) A. バーグマン (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) A. パトコー (兼任) (追加) A. ジュロー (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) M. ネアゴエ (兼任) R. オウロックリン (兼任) (追加) R. グールド (兼任) D. A. アイザックス (兼任)  前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) C. フィッツジェラルド (兼任) J. モーガン (兼任) H. クレイグ (兼任) (追加) M. ネアゴエ (兼任) T. ドゥウンデラー (兼任) G. O. アデボノジョ (兼任)
外国語（英語） 2 A	1・2後	1				兼 5 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 大島 省子 (兼任) (追加) 河内山 晶子 (兼任)
外国語（英語） 2 B	1・2後	1				兼 5 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) G. O. アデボノジョ (兼任) (追加) J. イングルスルド (兼任)  前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) R. グールド (兼任) (追加) A. バーグマン (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) A. パトコー (兼任) (追加) A. ジュロー (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) M. ネアゴエ (兼任) R. オウロックリン (兼任) (追加) R. グールド (兼任) D. A. アイザックス (兼任)  前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) C. フィッツジェラルド (兼任) J. モーガン (兼任) H. クレイグ (兼任) (追加) M. ネアゴエ (兼任) T. ドゥウンデラー (兼任) G. O. アデボノジョ (兼任)
外国語（ドイツ語） 1 A	1・2前	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 1 B	1・2前	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 2 A	1・2後	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 2 B	1・2後	1				兼 1
外国語（フランス語） 1 A	1・2前	1				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) 塚越 敦子 (兼任) (追加) 林 伸一郎 (兼任)
外国語（フランス語） 1 B	1・2前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 片山 文保 (兼任) (追加) 能登 省二 (兼任)  教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 丸山 正義 (兼任) (追加) 片山 文保 (兼任)
外国語（フランス語） 2 A	1・2後	1				兼 1

外国語（フランス語） 2 B	1・2後	1						兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 片山 文保 (兼任) (追加) 能登 省二 (兼任)
								教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 丸山 正義 (兼任) (追加) 片山 文保 (兼任)
外国語（中国語） 1 A	1・2前	1						兼 1 教育効果向上のため担当者変更(29) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 董 丹犁 (兼任)
								教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 白 愛仙 (兼任) (追加) 杉本 公子 (兼任)
外国語（中国語） 1 B	1・2前	1						兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 白 愛仙 (兼任) (追加) 山崎 愛 (兼任)
								教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 毛 丹 (兼任) (追加) 白 愛仙 (兼任)
外国語（中国語） 2 A	1・2後	1						兼 1 教育効果向上のため担当者変更(29) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 董 丹犁 (兼任)
								教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 郭 ティ (兼任) (追加) 杉本 公子 (兼任)
外国語（中国語） 2 B	1・2後	1						兼 1 前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) 鄭 楊 (兼任) (追加) 山崎 藍 (兼任)
外国語（韓国語） 1 A	1・2前	1						兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 藤原 愛 (兼任) (追加) 林 雄介 (兼任)
								前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) 齊藤 良子 (兼任) (追加) 藤原 愛 (兼任)
外国語（韓国語） 1 B	1・2前	1						兼 1
外国語（韓国語） 2 A	1・2後	1						兼 1
外国語（韓国語） 2 B	1・2後	1						兼 1
日本語 1 A	1・2前	1						兼 1
日本語 1 B	1・2前	1						兼 1
日本語 2 A	1・2後	1						兼 1
日本語 2 B	1・2後	1						兼 1
情報リテラシー a	1・2・3・4前	2						兼 1
情報リテラシー b	1・2・3・4後	2						兼 1
言語学 1	1・2・3・4前	2						兼 1
言語学 2	1・2・3・4後	2						兼 1
言葉の思想	1・2・3・4前	2						兼 1
科学コミュニケーション論	1・2・3・4前	2						兼 1
映画と音楽で学ぶ英語	1・2・3・4前	2						兼 1
異文化体験	1・2・3・4前	2						兼 1
異文化で学ぶ英語	1・2・3・4後	2						兼 1
								教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 内田 富男 (兼任) (追加) 藤原 愛 (兼任)
外国語（英語） 3 A	2・3前	1						兼 6 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 大島 省子 (兼任) (追加) 河内山 晶子 (兼任)

外国語（英語） 3 B	2・3前	1				兼 6 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) M. メネギーニ (兼担) (追加) J. イングルスルード (兼担)  教育効果向上のため担当者変更 (28) (削除) A. ジュロー (兼担) G. O. アデボノジョ (兼担) (追加) E. ポーバン (兼担) M. メネギーニ (兼担)  教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) A. バトコー (兼担) J. プライア (兼担) T. ドゥワンデラー (兼担) (追加) A. ジュロー (兼担) P. E. ロバートソン (兼担) T. ハンター (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) M. A. マレン (兼担) R. オウロックリン (兼担) (追加) T. バーデン (兼担) D. A. アイザックス (兼担)  前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) J. モーガン (兼担) H. クレイグ (兼担) (追加) T. ドゥワンデラー (兼担) G. O. アデボノジョ (兼担)
外国語（英語） 4 A	2・3後	1				兼 6 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 大島 省子 (兼任) (追加) 河内山 晶子 (兼担)
外国語（英語） 4 B	2・3後	1				兼 6 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) M. メネギーニ (兼担) (追加) J. イングルスルード (兼担)  教育効果向上のため担当者変更 (28) (削除) A. ジュロー (兼担) G. O. アデボノジョ (兼担) (追加) E. ポーバン (兼担) M. メネギーニ (兼担)  教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) A. バトコー (兼担) J. プライア (兼担) T. ドゥワンデラー (兼担) (追加) A. ジュロー (兼担) P. E. ロバートソン (兼担) T. ハンター (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) M. A. マレン (兼担) R. オウロックリン (兼担) (追加) T. バーデン (兼担) D. A. アイザックス (兼担)  前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) J. モーガン (兼担) H. クレイグ (兼担) (追加) T. ドゥワンデラー (兼担) G. O. アデボノジョ (兼担)
外国語（ドイツ語） 3 A	2・3前	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 3 B	2・3前	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 4 A	2・3後	1				兼 1
外国語（ドイツ語） 4 B	2・3後	1				兼 1

外国語（フランス語） 3 A	2・3前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 梅比良 節子 (兼任) (追加) 片山 文保 (兼任)
外国語（フランス語） 3 B	2・3前	1				兼 1
外国語（フランス語） 4 A	2・3後	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 梅比良 節子 (兼任) (追加) 片山 文保 (兼任)
外国語（フランス語） 4 B	2・3後	1				兼 1
外国語（中国語） 3 A	2・3前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 郭 テイ (兼任) (追加) 叢 小榕 (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 郭 テイ (兼任)
外国語（中国語） 3 B	2・3前	1				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 白 愛仙 (兼任) (追加) 吉川 榮一 (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 白 愛仙 (兼任)
外国語（中国語） 4 A	2・3後	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 郭 テイ (兼任) (追加) 叢 小榕 (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 郭 テイ (兼任)
外国語（中国語） 4 B	2・3後	1				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 白 愛仙 (兼任) (追加) 吉川 榮一 (兼任) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 杉本 公子 (兼任) (追加) 白 愛仙 (兼任)
外国語（韓国語） 3 A	2・3前	1				兼 1
外国語（韓国語） 3 B	2・3前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (28) (削除) 金 庚芬 (兼任) (追加) 秀村 研二 (兼任) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(27) (削除) 吉川 友文 (兼任) (追加) 金 庚芬 (兼任) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 金 庚芬 (兼任) (追加) 吉川 友文 (兼任)
外国語（韓国語） 4 A	2・3後	1				兼 1
外国語（韓国語） 4 B	2・3後	1				兼 1 特別研究機関制度適用による担当教員変更(27) (削除) 吉川 友文 (兼任) (追加) 金 庚芬 (兼任) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) (削除) 金 庚芬 (兼任) (追加) 吉川 友文 (兼任)
日本語 3 A	2・3前	1				兼 1
日本語 3 B	2・3前	1				兼 1
日本語 4 A	2・3後	1				兼 1
日本語 4 B	2・3後	1				兼 1
上級英語 1	3・4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) P. E. ロバートソン (兼任) (追加) T. バーデン (兼任)
上級英語 2	3・4後	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) P. E. ロバートソン (追加) T. バーデン (兼任)

上級ドイツ語 1	3・4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 岡田 恒雄 (兼担) (追加) 佐々木 滋 (兼担)  教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 佐々木 滋 (兼担) (追加) 岡田 恒雄 (兼担)
上級ドイツ語 2	3・4後	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 佐々木 滋 (兼担) (追加) 岡田 恒雄 (兼担)
上級フランス語 1	3・4前	1				兼 1
上級フランス語 2	3・4後	1				兼 1
上級中国語 1	3・4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 吉川 榮一 (兼担) (追加) 山崎 藍 (兼担)
上級中国語 2	3・4後	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 吉川 榮一 (兼担) (追加) 山崎 藍 (兼担)
上級韓国語 1	3・4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 秀村 研二 (兼担) (追加) 林 雄介 (兼担) 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 林 雄介 (兼担) (追加) 秀村 研二 (兼担)
上級韓国語 2	3・4後	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 秀村 研二 (兼担) (追加) 林 雄介 (兼担) 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 林 雄介 (兼担) (追加) 秀村 研二 (兼担)
上級英語 3	4前	1				兼 1
上級英語 4	4後	1				兼 1
上級ドイツ語 3	4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 佐々木 滋 (兼担) (追加) 岡田 恒雄 (兼担)
上級ドイツ語 4	4後	1				兼 1
上級フランス語 3	4前	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 林 伸一郎 (兼担) (追加) 丸山 正義 (兼担)
上級フランス語 4	4後	1				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 林 伸一郎 (兼担) (追加) 丸山 正義 (兼担)
上級中国語 3	4前	1				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) 三木 友里 (兼担) (追加) 叢 小榕 (兼担)  教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 山崎 藍 (兼担) (追加) 三木 友里 (兼担) 新任教員採用による担当科目変更 (26) (削除) 林 珊羽 (兼担) (追加) 山崎 藍 (兼担)

上級中国語 4	4後	1				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) 三木 友里 (兼担) (追加) 叢 小裕 (兼担)  教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 山崎 藍 (兼担) (追加) 三木 友里 (兼担) 新任教員採用による担当科目変更 (26) (削除) 林 珊羽 (兼担) (追加) 山崎 藍 (兼担)
上級韓国語 3	4前	1				兼 1 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) (削除) 林 雄介 (兼担) (追加) 金 庚芬 (兼担) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) (削除) 金 庚芬 (兼担) (追加) 林 雄介 (兼担)
上級韓国語 4	4後	1				兼 1 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) (削除) 林 雄介 (兼担) (追加) 金 庚芬 (兼担) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) (削除) 金 庚芬 (兼担) (追加) 林 雄介 (兼担)
日本事情 1	1・2・3・4前	2				兼 1
日本事情 2	1・2・3・4後	2				兼 1
外国事情 1	1・2・3・4前	2				兼 1
外国事情 2	1・2・3・4後	2				兼 1 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) (削除) 林 雄介 (兼担) (追加) 金 庚芬 (兼担) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) (削除) 金 庚芬 (兼担) (追加) 林 雄介 (兼担)
日本の文学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
日本の文学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
外国の文学 1	1・2・3・4前	2				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 原田 明子 (兼任) (追加) 丸山 正義 (兼担)
外国の文学 2	1・2・3・4後	2				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (28) (削除) 原田 明子 (兼任) (追加) 丸山 正義 (兼担)
文化人類学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
文化人類学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
人文科学論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
人文科学論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
日本史 1	1・2・3・4前	2				兼 1
日本史 2	1・2・3・4後	2				兼 1
西洋の歴史と文化 1	1・2・3・4前	2				兼 1 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) 平井 正樹 (兼担) (追加) 上田 耕造 (兼担)
西洋の歴史と文化 2	1・2・3・4後	2				兼 1 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) 平井 正樹 (兼担) (追加) 上田 耕造 (兼担)
中国の歴史と文化 1	1・2・3・4前	2				兼 1
中国の歴史と文化 2	1・2・3・4後	2				兼 1
考古学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
考古学 2	1・2・3・4後	2				兼 1

日本の芸能 1	1・2・3・4前	2				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) 倉持 長子 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任)  前任教員退職のため担当教員変更 (28) (削除) 井上 愛 (兼任) (追加) 倉持 長子 (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) 和田 尚久 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任) 苗字の変更 (26) 松本 尚久 → 和田 尚久
日本の芸能 2	1・2・3・4後	2				兼 1 前任教員退職のため担当者変更 (29) (削除) 倉持 長子 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任)  前任教員退職のため担当教員変更 (28) (削除) 井上 愛 (兼任) (追加) 倉持 長子 (兼任) 前任教員退職のため担当教員変更 (27) (削除) 和田 尚久 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任) 苗字の変更 (26) 松本 尚久 → 和田 尚久
日本民俗学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
日本民俗学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
自然科学史	1・2・3・4前	2				兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 篠山 浩文 (兼任) (追加) 齋藤 政則 (兼任)
図像学	1・2・3・4前	2				兼 1
人文科学論 3	2・3・4前	2				兼 1
人文科学論 4	2・3・4後	2				兼 1
日本史 3	2・3・4前	2				兼 1
日本史 4	2・3・4後	2				兼 1
社会の仕組みと人間の営み 1	1・2・3・4前	2				兼 1
社会の仕組みと人間の営み 2	1・2・3・4後	2				兼 1
法学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
法学 2 (日本国憲法)	1・2・3・4後	2				兼 1
現代政治を読み解く 1	1・2・3・4前	2				兼 1
現代政治を読み解く 2	1・2・3・4後	2				兼 1
社会科学論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
社会科学論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
国際関係論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
国際関係論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
21世紀経済への視点 1	1・2・3・4前	2				兼 1
21世紀経済への視点 2	1・2・3・4後	2				兼 1
グローバル時代の経営 1	1・2・3・4前	2				兼 1
グローバル時代の経営 2	1・2・3・4後	2				兼 1
情報社会文化論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
情報社会文化論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
生涯学習論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
生涯学習論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
図書館の基礎と展望	1・2・3・4前	2				兼 1
社会に生きる私たちの人権	1・2・3・4前	2				兼 1
女性の生き方	1・2・3・4後	2				兼 1
地図を読む	1・2・3・4前	2				兼 1
ボランティア論	1・2・3・4前・後	2				兼 1 前任教員退職のため担当教員変更 (26) (削除) 安藤 雄太 (兼任) (追加) 枝見 太郎 (兼任)
情報法制論	2・3・4前	2				兼 1
地球惑星学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
地球惑星学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
科学技術論 1	1・2・3・4前	2				兼 1
科学技術論 2	1・2・3・4後	2				兼 1
統計学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
統計学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
基礎数学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
基礎数学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
生物学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
生物学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
物理学 1	1・2・3・4前	2				兼 1
物理学 2	1・2・3・4後	2				兼 1
化学 1	1・2・3・4前	2				兼 1

	化学2	1・2・3・4後	2						兼 1 教育効果向上のため担当者変更(26) (削除) 原田 久志 (追加) 中村 克己
	自然科学入門1	1・2・3・4前	2						兼 1
	自然科学入門2	1・2・3・4後	2						兼 1
	生物学3	2・3・4前	2						兼 1
	生物学4	2・3・4後	2						兼 1
	人類と環境	2・3・4前	2						兼 1
	特別講義1	1・2・3・4前	2						兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 鈴木 時男 (兼担) (追加) 河内山 晶子 (兼担)
	特別講義2	1・2・3・4前	1						兼 1
	特別講義3	1・2・3・4後	2						兼 1
	特別講義4	1・2・3・4後	1						兼 1
全学共通社会的・職業的自立促進科目	自立と体験3	2後		2					兼 3 前任教員退職のため担当教員変更 (29) (削除) 百木 英明 (兼担) (追加) 榎本 達彦 (兼担) 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 長谷川 満 (兼任) (追加) 高橋 南海子 (兼担)
	自立と体験4	3前		2					兼 3 教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 長谷川 満 (兼任) (追加) 高橋 南海子 (兼担)
	ボランティア実践1	2前		1					兼 1 担当者追加 (27) (追加) 浅井 正行 (兼担) 学生が社会的職業的に自立できるよう新規科目区分を設置したことに伴い、ボランティアの知見を実践する科目を追加した(26)
	ボランティア実践2	2後		1					兼 1 担当者追加 (27) (追加) 浅井 正行 (兼担) 学生が社会的職業的に自立できるよう新規科目区分を設置したことに伴い、ボランティアの知見を実践する科目を追加した(26)
	キャリアデザイン1	1後		2					兼 2 全学共通でキャリア教育を充実させる為に、キャリア意識の醸成、一線で活躍する職業人からの経験などを聴く機会を設けた科目を追加した。科目追加に伴う担当者追加 (27) (追加) 鈴木 浩子 (兼担) 高橋 南海子 (兼担)
	キャリアデザイン2	2後		2					兼 1 担当者追加 (28) (追加) 榎本 達彦 全学共通でキャリア教育を充実させる為に、キャリア意識の醸成、一線で活躍する職業人からの経験などを聴く機会を設けた科目を追加した (27)
学科学目	デザイン概論	1前	2		5 -1	1			教育効果向上のため担当教員の変更及び追加(26) (削除) 吉岡 聖美 (准教授) (追加) 浅井 治彦 (教授) 佐々木 果 (教授) 田中 久隆 (教授) 富田 洋美 (教授) 武藤 努 (准教授)
	色彩学	1前	2		1	0 -1			教育効果向上のため担当教員の変更及び教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(26) (削除) 田中 久隆 (教授) 吉岡 聖美 (准教授) (追加) 西本 剛己 (教授)
	デザイン史	1後	2			1			兼 1
	美術史概論	1後	2						兼 1
	デザイン図学	1後	2						兼 1



デザインと人	2前	2				兼 2	オムニバス 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28) (削除) 武者 廣平(兼任) (追加) 笠松 慶子(兼任)
視覚メディア論	2前	2			1		
材料学	2前	2				兼 1	
デザインと文化	2後	2		1	1		教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(27) (削除) 岡本 文一(教授)
日本・東洋美術史	2後	2				兼 1	
マンガ・アニメーション史	2後	2			1		
デザインとテクノロジー	3前	2				兼 1	
論考と構成	3前	2		1	1		教育効果向上のため及び専任教員(教授)退職により、担当教員を変更、また教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28) (削除) 岡本 文一(教授) 塩野 麻理(教授) 土田 俊介(准教授) (追加) 佐々木 果(教授) 吉岡 聖美(准教授)
				<del>1</del>	<del>1</del>		専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介(准教授) (追加) 後任未定
表現基礎実習A(平面構成)	1前	1		1	<del>1</del>	兼 1	教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)川又 淳(准教授) (追加)エリオット・バーグマン(兼任)
						兼 1	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28) (削除) エリオット・バーグマン(兼任) (追加) 川又 淳(准教授)
表現基礎実習B(立体構成)	1前	1			1	兼 1	教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) エリオット・バーグマン(兼任)
						兼 1	兼任講師就任辞退のため担当教員1名減(29) (削除)千崎 千恵夫(兼任)
表現基礎実習C(イメージ描画)	1前	1		1	1	兼 2	教育効果向上のため担当教員の追加(26) (追加) 千崎 千恵夫(兼任)
					<del>1</del>	兼 1	教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)川又 淳(准教授) (追加)白水 悠一郎(兼任)
					<del>0</del>		教育効果向上のため担当教員の追加および変更(28) (削除) 佐々木 果(教授) (追加) 渋谷 和良(教授) 川又 淳(准教授) 土田 俊介(准教授)
					<del>1</del>		教育効果向上のため担当教員の追加及び職位変更(26) (追加) 水貝 善樹(兼任) (職位変更) 佐々木 果(准教授→教授)

表現基礎実習D (デッサン)	1前		1	2	1	兼 3 兼 1	兼任講師就任辞退のため担当者変更 (29) (削除) 千崎 千恵夫 (兼任) (追加) 空谷 圭章 (兼任)  教育効果向上のため担当教員の追加 (28) (追加) 土田 俊介 (准教授) 白水 悠一郎 (兼任) 丸山 達也 (兼任)  教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 千崎 千恵夫 (兼任)
表現基礎実習E (レンダリング・モデリング)	1後		1			兼 2	オムニバス
表現基礎実習F (印刷技法)	2前		1	2 <del>1</del>	<del>1</del>		教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 川又 淳 (准教授) (追加) 富田 洋美 (教授)  教育効果向上のため担当教員の追加 (28) (追加) 川又 淳 (准教授)
表現基礎実習G (彫塑)	2後		1	1		兼 1	教員間の負担格差解消のため担当者 変更 (29) (削除) 武藤 努 (准教授) (追加) 川又 淳 (准教授)  兼任講師就任辞退のため担当教員変 更 (28) (削除) 谷田 幸 (兼任) (追加) 早瀬 交宣 (兼任)  教育効果向上のため担当教員の追加 (26) (追加) 谷田 幸 (兼任)
コンピュータ表現基礎実習1	1前	1			1		
コンピュータ表現基礎実習2	1後	1			1	兼 1	教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 土田 俊介 (准教授) (追加) 川又 淳 (准教授)  教育効果向上のため担当教員の変更 及び追加 (26) (削除) 武藤 努 (准教授) (追加) 土田 俊介 (准教授) 早瀬 交宣 (兼任)
コンピュータ表現応用実習	2前		1	<del>1</del>		兼 1	教育効果向上のため担当教員の変更 (27) (削除) 西本 剛己 (教授) (追加) 石井 海 (兼任)
材料加工実習A (紙・布・木)	1前		1	2			
材料加工実習B (金属・樹脂・新素材)	1後		1	1 <del>1</del>	1 <del>1</del>		教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 武藤 努 (准教授) (追加) 塩野 麻理 (教授)  教育効果向上のため担当教員の変更 (26) (削除) 塩野 麻理 (教授) (追加) 武藤 努 (准教授)

材料加工実習C (土・ガラス)	2前		1	0 -1	-1			兼 2 兼 -1 専任教員 (教授) 退職のため担当教員の変更 (28) (削除) 岡本 文一 (教授) (追加) 星 樹理亜 (兼任) 専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更 (27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 清水 里佳 (兼任)
デザイン製図実習	1後		1					兼 1
デジタル工作実習	2前		1					兼 1
メディア表現実習	2後		1					兼 1
シナリオ制作実習	2後		1					兼 1 兼任講師就任辞退のため担当教員変更 (28) (削除) 松枝 佳紀 (兼任) (追加) 神野 浩昌 (兼任)
サウンドデザイン実習	3前		1					兼 1
クラフトデザインA	3前		2	1	1 -1			兼 -1 教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 清水 里佳 (兼任) (追加) 土田 俊介 (准教授) 専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更 (27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 清水 里佳 (兼任)
クラフトデザインB	3後		2	1	-1			兼 1 教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 土田 俊介 (准教授) (追加) 清水 里佳 (兼任)
企画表現演習1	1前	2		2 -2	3 -4			教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 萩原 修 (教授) 吉岡 聖美 (准教授) (追加) 塩野 麻理 (教授) 川又 淳 (准教授) 新任教員採用のため担当教員の変更及び職位変更 (26) (削除) 岡本 文一 (教授) 榊原 八朗 (教授) (追加) 萩原 修 (教授) (職位変更) 佐々木 果 (准教授→教授)

企画表現演習2	1後	2	<del>2</del> <del>3</del> <del>2</del> 1	<del>3</del> <del>2</del> <del>3</del> 2	兼+	<p>教育効果向上のため担当者変更(29) (削除) 富田 洋美(教授) 萩原 修(教授) 川又 淳(准教授) (追加) 田中 久隆(教授) 浅井 治彦(教授) 土田 俊介(准教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 佐々木 果(教授) (追加) 川又 淳(准教授)</p> <p>専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介(准教授) (追加) 佐々木 果(教授)</p> <p>新任教員採用及び教育効果向上のため担当教員の変更(26) (削除) 浅井 治彦(教授) 榊原 八朗(教授) 佐久間美智子(教授) 吉岡 聖美(准教授) 太刀川 英輔(兼任) (追加) 富田 洋美(教授) 萩原 修(教授) 田上 知之介(准教授) 武藤 努(准教授)</p>
企画表現演習3	2前	2	<del>2</del> <del>3</del>	<del>3</del> 2		<p>教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)浅井 治彦(教授) (追加)富田 洋美(教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更及び開講クラス数変更のため担当教員削除(27) (削除) 岡本 文一(教授) 佐久間美智子(教授) 塩野 麻理(教授) 土田 俊介(准教授) (追加) 萩原 修(教授) 吉岡 聖美(准教授) 武藤 努(准教授)</p>
企画表現演習4	2後	4	<del>3</del> 2	<del>2</del> <del>3</del>		<p>教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 塩野 麻理(教授) (追加) 萩原 修(教授)</p> <p>教育効果向上のため及び専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) (削除) 岡本 文一(教授) 田上 知之介(准教授) (追加) 浅井 治彦(教授) 塩野 麻理(教授)</p>
企画表現演習5	3前	4	<del>3</del> <del>2</del> 1	<del>2</del> <del>3</del> <del>3</del>		<p>教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)土田 俊介(准教授) (追加)浅井 治彦(教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加及び変更(28) (削除) 渋谷 和良(教授) (追加) 西本 剛己(教授) 萩原 修(教授) 吉岡 聖美(准教授)</p> <p>専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介(准教授) (追加) 後任未定</p>

企画表現演習6	3後	4		<del>2</del> 4	<del>3</del> 2			<p>教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 浅井 治彦 (教授) (追加) 武藤 努 (准教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 及び開講クラス数変更のため担当教員 削除(28) (削除) 塩野 麻理 (教授) 武藤 努 (准教授) (追加) 川又 淳 (准教授)</p>
企画表現演習7	4前	4		<del>4</del> 2	<del>0</del> 3			<p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 西本 剛己 (教授) 土田 俊介 (准教授) 吉岡 聖美 (准教授) (追加) 田中 久隆 (教授) 萩原 修 (教授) 塩野 麻理 (教授)</p> <p>専任教員 (准教授) 退職のため担当 教員の変更 (27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 後任未定</p>
視覚デザイン基礎演習	1後	2		<del>2</del> 1	<del>1</del> 2			<p>オムニバス</p> <p>教員間の負担格差解消のため担当教員 1名減 (28) (削除) 土田 俊介 (准教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 武藤 努 (准教授)</p> <p>職位変更 (26) 佐々木 果 (准教授→教授)</p>
グラフィックデザインA	2前	4		1	1	兼 1 兼 2		<p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28) (削除) 観堂 達樹 (兼任) (追加) 川又 淳 (准教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 松野 良則 (兼任) 観堂 達樹 (兼任)</p>
グラフィックデザインB	2後	4		<del>1</del> 2 1		兼 1		<p>教育効果向上のため担当者変更 (29) (削除) 渋谷 和良 (教授) (追加) エリ奥特・バーガン (兼任)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 渋谷 和良 (教授)</p>
グラフィックデザインC	3前	4		1	1			<p>教育効果向上のため担当教員の追加 (28) (追加) 川又 淳 (准教授)</p>
マンガデザインA	2前	4			1			
マンガデザインB	2後	4			1	兼 1		<p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 飯田 崇 (兼任)</p>
マンガデザインC	3前	4			1			
メディアデザインA	2前	4			<del>1</del> 2 1			<p>教員間の負担格差解消のため担当教員 1名減 (28) (削除) 土田 俊介 (准教授)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27) (追加) 土田 俊介 (准教授)</p>

メディアデザインB	2後		4			1 <del>0</del> -1			兼1 兼任講師就任辞退のため担当者変更(29) (削除) 久世 祥三(兼任) (追加) 武藤 努(准教授) 教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28) (削除) 武藤 努(准教授) 教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) 久世 祥三(兼任)
メディアデザインC	3前		4			1		兼1 教育効果向上のため担当教員の追加(28) (追加) 石塚 英樹(兼任)	
視覚デザインコラボレーション	3後		2		1 <del>2</del>	0 -1		産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) (削除) 塩野 麻理(教授) 渋谷 和良(教授) 土田 俊介(准教授) (追加) 萩原 修(教授)	
生活デザイン基礎演習	1後		2		3			オムニバス	
プロダクトデザインA	2前		4		1	1		兼1 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28) (削除) 山田 佳一朗(兼任) (追加) 土田 俊介(准教授) 教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) 山田 佳一朗(兼任)	
プロダクトデザインB	2後		4		1			兼1 教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) 石井 海(兼任)	
プロダクトデザインC	3前		4		1			兼1 教育効果向上のため担当教員の追加(28) (追加) 石井 保幸(兼任)	
インテリアデザインA	2前		4		1			兼1 教育効果向上のため担当教員の変更(27) (削除) 西本 剛己(教授) (追加) 石井 健(兼任)	
インテリアデザインB	2後		4		-1				
インテリアデザインC	3前		4		1			兼1 教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) 下後 充代(兼任)	
ファッションデザインA	2前		4		1				
ファッションデザインB	2後		4		1			兼1 教育効果向上のため担当教員の追加(27) (追加) 下後 充代(兼任)	
ファッションデザインC	3前		4		1			産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) (削除) 西本 剛己(教授) 田中 久隆(教授) (追加) 萩原 修(教授) 専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介(准教授) (追加) 後任未定	
生活デザインコラボレーション	3後		2		1 <del>2</del>	0 -1			

自立と体験2	1後	2			3 <del>4</del> <del>3</del> <del>2</del>	2 <del>1</del> <del>2</del>				教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 浅井 治彦 (教授) 佐々木 果 (教授) (追加) 塩野 麻理 (教授) 土田 俊介 (准教授) 専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 佐々木 果 (教授) 教育効果向上のため担当教員の追加・変更(26) (削除) 田中 久隆 (教授) 佐々木 果 (准教授→教授) (追加) 浅井 治彦 (教授) 萩原 修 (教授) 田上 知之介 (准教授)
デザインキャリア特別講義 インターンシップ	2後 3前	2 2				1 1				集中
ポップカルチャービジネス論	3前		2			1				兼 1
照明演出論	3前		2							兼 1
インタラクティブデザイン論	3前		2							兼 1
インターネットビジネス論	3後		2			1				兼任講師就任辞退のため担当者変更(29) (削除) 松崎 良太 (兼任) (追加) 平藤 篤 (兼任)
ブランディング論	3後		2		1					教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 武藤 努 (准教授) (追加) 松崎 良太 (兼任)
ソーシャルデザイン論	3後		2		1	1				教育効果向上のため担当教員の変更(28) (削除) 富田 洋美 (教授) (追加) 萩原 修 (教授) 後任の決定(28) (追加) 萩原 修 (教授)
デザインマネジメント論	4前		2		1					専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 後任未定
デザインと法	4前		2							教育効果向上のため担当者変更(29) (削除) 富田 洋美 (教授) (追加) 萩原 修 (教授)
卒業研究	4通	8			8 <del>7</del> <del>7</del> <del>6</del>	5 <del>3</del> <del>4</del> <del>5</del>				兼 1
										新任教員採用のため担当教員の追加及び変更(28) (追加) 萩原 修 (教授) 池谷 聡 (准教授) 川又 淳 (准教授) 専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更(27) (削除) 田上 知之介 (准教授) (追加) 後任未定 職位変更(26) 佐々木 果 (准教授→教授)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
17科目	238科目	2科目	257科目	17科目	238科目	6科目 -4科目	261科目 -259科目	
						[ 4 ] [ -2 ]	[ 4 ] [ -2 ]	
				[ 0 ]	[ 0 ]			

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{257} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	197,697㎡	0㎡	0㎡	197,697㎡	・日野校
		683,812㎡	0㎡	0㎡	683,812㎡	・青梅校
	運 動 場 用 地	74,314㎡	0㎡	0㎡	74,314㎡	・日野校
		94,320㎡	0㎡	0㎡	94,320㎡	・青梅校
	小 計	272,011㎡	0㎡	0㎡	272,011㎡	・日野校
		778,132㎡	0㎡	0㎡	778,132㎡	・青梅校
	そ の 他	17,243㎡	0㎡	0㎡	17,243㎡	・日野校
14,758㎡		0㎡	0㎡	14,758㎡	法人用地を学生寮として利用したため(26)	
合 計	1,086,007㎡ <del>1,083,522㎡</del>	0㎡	0㎡	1,086,007㎡ <del>1,083,522㎡</del>	・青梅校 大学全体	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	179,251㎡ <del>179,566㎡</del>	0㎡	0㎡	179,251㎡ <del>179,566㎡</del>	・日野校 新校舎完成に伴う校舎面積確定により減少(27)	
	(164,392㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(164,392㎡)		
	32,714㎡ (32,714㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	32,714㎡ (32,714㎡)	・青梅校	
211,965㎡ <del>212,280㎡</del>	0㎡	0㎡	211,965㎡ <del>212,280㎡</del>	大学全体		
(197,106㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(197,106㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	92室 88室 92室	229室 <del>179室</del> 165室 194室	244室 <del>231室</del> 194室 204室	19室 21室 (補助職員6-8人)	1室 2室 (補助職員2-4人)	・日野校 教室等の用途の見直し及び変更による増減(29) 新校舎完成に伴い教室数の増加(27) 人員配置計画の調整による変更のため、1名減少(27) 新校舎建設中のため、教室等減少(26) 人員配置計画の調整による変更のため、3名減少(26)
	23室	8室	36室	1室 (補助職員0-2人)	0室 (補助職員0人)	・青梅校 人員配置計画の調整による変更のため、2名減少(26)
	115室 111室 115室	237室 <del>187室</del> 173室 202室	280室 <del>267室</del> 230室 240室	20室 22室 (補助職員6-10人)	1室 2室 (補助職員2-4人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		平成28年3月 2名退任し 1名採用のため1室減少 (28)	
	デザイン学部 デザイン学科		13			
			14 16		平成27年3月 2名退職のため2室減少(27)	

(5)	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		28,907 [11,833] (29,563 [13,030]) <del>-(28,994 [12,590])</del> <del>-(29,007 [12,580])</del> <del>-(28,384 [11,599])</del> <del>-(28,107 [11,433])</del>	227 [ 48 ] (318 [149]) <del>-(286 [154])</del> <del>-(347 [148])</del> <del>-(254 [55])</del> <del>-(227 [ 48])</del>	2 [ 2 ] (111 [111]) <del>-(116 [116])</del> <del>-(93 [93])</del> <del>-(1 [1])</del> <del>-(2 [2])</del>	541 888 <del>-(901)</del> <del>-(682)</del> <del>-(563)</del> <del>-(541)</del>	884 ( 2,773 ) <del>-( 2,740 )</del> <del>-( 2,721 )</del> <del>-(885)</del> <del>-(884)</del>	23 ( 23 )		(視聴覚) DVDを20タイトル除却した 為に増加分との相殺で全 体として13減少した (電子ジャーナル) 契約データベースの収録 タイトルの減少による (29)  電子ジャーナルのデータ ベースを切り替えたため タイトル数増加(28)
		デザイン学部 デザイン学科							
計						教育環境充実及び電子 ジャーナル契約データ ベース切り替えのため、 前年と比較し収録タイ トル増加(27)  教育環境充実のため(26)			
(6)	図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	15号館資料図書館開館 のため、日野校閲覧座 席数及び収納可能冊数 増加(27)  ・日野校  ・青梅校  青梅校図書室閉室のた め、面積、閲覧座席 数、収納可能冊数とも に減少(27)				
		16,865 m <sup>2</sup>	847 席 728席	1,562,200 冊 1,526,000冊					
		4343m <sup>2</sup>	292席	363,000冊					
	合計	16,865 m <sup>2</sup> 21,208 m <sup>2</sup>	847 席 1,020 席	1,562,200 冊 1,889,000冊					
(7)	体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				・日野校  ・青梅校  大学全体		
		8,006m <sup>2</sup>	野球場、テニスコート						
		4,928m <sup>2</sup>	野球場、テニスコート						
	合計	12,934m <sup>2</sup>							
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は 大学全体  図書購入費には電子 ジャーナル・データベー スの整備費(運用コスト 含む)を 含む  設備購入費は大学全体
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	45,000千円	45,000千円	45,000千円	
		共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	
		学生1人当り納付金	第1年次 1,590千円	第2年次 1,340千円	第3年次 1,340千円	第4年次 1,340千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、資産運用収入及び私立大学等経常経費補助金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	明星大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
<b>理工学部</b>						1.00		東京都日野市 程久保2丁目 1番地1	
総合理工学科	4	400	—	1,600	学士(理学) 学士(工学)	1.00	平成22年度		
化学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	昭和39年度		平成22年4月より 学生募集停止
機械システム工学科 環境システム学科	4 4	— —	— —	— —	学士(工学) 学士(工学)	— —	平成17年度 平成17年度		(化学科・機械システム工 学科・環境システム学科)
<b>人文学部</b>						1.13			
国際コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士(国際コ ミュニケーション学)	1.21	平成17年度		
人間社会学科 心理学科	4 4	80 —	— —	320 —	学士(社会学) 学士(心理学)	1.09 —	昭和40年度 平成22年度		平成29年4月より 学生募集停止 (心理学科)
日本文化学科 福祉実践学科 心理・教育学科	4 4 4	100 60 —	— — —	400 240 —	学士(文学) 学士(社会福祉 学) 学士(心理学) 学士(教育学)	1.13 1.06 —	平成22年度 平成22年度 昭和40年度		平成22年4月より 学生募集停止 (心理・教育学科)
<b>経済学部</b>						1.08			
経済学科	4	260	—	1,160	学士(経済学)	1.08	平成13年度		平成29年4月より 入学定員変更(経済学科 300→260)
経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成17年度		平成24年4月より 学生募集停止 (経営学科)
<b>情報学部</b>						1.06			
情報学科	4	140	—	560	学士(情報)	1.06	平成17年度		平成26年4月より 入学定員変更(情報学科 170→140)
<b>日本文化学部</b>						—			
言語文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成4年度		平成22年4月より 学生募集停止 (日本文化学部言語文化学 科)
<b>造形芸術学部</b>						—			
造形芸術学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成17年度		平成26年4月より 学生募集停止(造形芸術学 部造形芸術学科)
<b>教育学部</b>						1.19			
教育学科	4	350	—	1,310	学士(教育学)	1.19	平成22年度		平成29年4月より 入学定員変更(教育学科 320→350)

経営学部						1.08		
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.08	平成24年度	
デザイン学部						1.06		
デザイン学科	4	120	—	480	学士(デザイン学)	1.06	平成26年度	
心理学部						1.16		
心理学科	4	120	—	120	学士(心理学)	1.16	平成29年度	
(通信教育部)								
教育学部						0.05		
教育学科 (通信課程)	4	2,000	—	8,000	学士(教育学)	0.05	平成22年度	
人文学部						—		
心理・教育学科 (通信課程)	4	—	—	—	学士(教育学)	—	昭和42年度	平成22年4月より 学生募集停止 (人文学部心理・教育学科 通信課程)
(大学院)								
理工学研究科						0.47		東京都日野市 程久保2丁目 1番地1
(博士前期課程)								
物理学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.25	昭和54年度	
化学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	1.05	昭和48年度	
機械工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.30	昭和55年度	
電気工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.15	昭和54年度	
建築・建設工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.40	平成20年度	
環境システム学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.80	平成20年度	
(博士後期課程)						0.06		
物理学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.06	昭和56年度	
化学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.26	昭和51年度	
機械工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和57年度	
電気工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和56年度	
建築・建設工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.00	平成20年度	
環境システム学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成20年度	
人文学研究科						0.46		
(博士前期課程)								
英米文学専攻	2	10	—	20	修士(英米文学)	0.40	昭和58年度	
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.05	昭和46年度	
心理学専攻	2	10	—	20	修士(心理学)	0.95	昭和49年度	
教育学専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	昭和47年度	平成26年4月より学生募 集停止 (教育学専攻)
(博士後期課程)						0.22		
英米文学専攻	3	3	—	9	博士(英米文学)	0.11	昭和63年度	
社会学専攻	3	3	—	9	博士(社会学)	0.11	昭和51年度	

心理学専攻	3	3	—	9	博士(心理学)	0.44	昭和53年度	
教育学専攻	3	—	—	—	博士(教育学)	—	昭和49年度	
経済学研究科 (修士課程)						0.25		
応用経済学専攻	2	10	—	20	修士(応用経済学)	0.25	平成18年度	
情報学研究科 (博士前期課程)						0.56		
情報学専攻	2	7	—	14	修士(情報学)	0.56	平成10年度	
(博士後期課程)						0.22		
情報学専攻	3	3	—	9	博士(情報学)	0.22	平成12年度	
教育学研究科 (博士前期課程)						0.10		
教育学専攻	2	10	—	20	修士(教育学)	0.10	平成26年度	
(博士後期課程)						0.11		
教育学専攻	3	3	—	9	博士(教育学)	0.11	平成26年度	
(通信制大学院)								
教育学研究科 (博士前期課程)						0.64		平成26年4月より人文学 研究科教育学専攻を教 育学研究科へ名称変更 (教育学専攻通信課程)
教育学専攻(通信課程)	2	30	—	60	修士(教育学)	0.64	平成11年度	
(博士後期課程)						1.10		
教育学専攻(通信課程)	3	3	—	9	博士(教育学)	1.10	平成18年度	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <デザイン学部 デザイン学科>

#### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	ニシモト タケミ 西本 剛己 (52)	平成26年4月	デザイン概論 コンピュータ表現応用実習 企画表現演習4 企画表現演習7 生活デザイン基礎演習 インテリアデザインA インテリアデザインB インテリアデザインC 生活デザインコラボレーション 卒業研究	兼任 専 兼任	講師 教授 講師	石井 海 (35) 田中 久隆 (55) 石井 健 (45)	平成27年4月  平成27年4月	コンピュータ表現応用実習 企画表現演習7 インテリアデザインB 生活デザインコラボレーション 色彩学 企画表現演習5	教育効果向上のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(27) 産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
専	教授	アサイ ハルヒコ 浅井 治彦 (59)	平成26年4月	企画表現演習2 企画表現演習3 企画表現演習6 生活デザイン基礎演習 プロダクトデザインA プロダクトデザインB プロダクトデザインC 卒業研究	専 専 専	教授 教授 准教授	富田 洋美 (64) 富田 洋美 (67) 武藤 努 (41)		企画表現演習2 企画表現演習3 企画表現演習6  企画表現演習4 デザイン概論 自立と体験2 自立と体験2 企画表現演習2 企画表現演習5	新任教員採用及び教育効果向上のため担当教員の変更(26) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)  教育効果向上のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)
専	教授	オカモト ブンイチ 岡本 文一 (62)	平成26年4月	デザインと文化 論考と構成 材料加工実習C(土・ガラス) 企画表現演習1 企画表現演習3 企画表現演習4	専 兼任	教授 講師	佐々木 果 (54) 星 樹理亜 (34)	平成28年4月	デザインと文化 論考と構成 企画表現演習1 企画表現演習3 企画表現演習4	教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(27) 専任教員(教授)退職のため担当教員の変更(28) 専任教員(教授)退職のため担当教員の変更(28) 新任教員採用のため担当科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員の変更担当教員削除(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(27)
専	教授	サカキバラ ハチロウ 榎原 八朗 (69)	平成26年4月	企画表現演習1 企画表現演習2	専	教授	萩原 修 (52) 萩原 修 (52)		企画表現演習1 企画表現演習2	新任教員採用のため担当科目削除(26) 新任教員採用のため担当科目削除(26)
専	教授	サクマ ミチコ 佐久間 美智子 (68)	平成26年4月	企画表現演習2 企画表現演習3	専 専	准教授 准教授	田上 知之介 (39) 吉岡 聖美 (50)		企画表現演習2 企画表現演習3	新任教員採用のため担当科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(27)
専	教授	シオノ マリ 塩野 麻理 (51)	平成26年4月	自立と体験1 論考と構成 表現基礎実習D(デッサン) 表現基礎実習G(彫塑)	専	教授 准教授	萩原 修 (52) 吉岡 聖美 (51)		自立と体験1 論考と構成	新任教員採用のため担当科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28)

				<p>材料加工実習A (紙・布・木)</p> <p>材料加工実習B (金属・樹脂・新素材)</p> <p>クラフトデザインA</p> <p>クラフトデザインB</p> <p>企画表現演習3</p> <p>企画表現演習6</p> <p>視覚デザインコラボレーション</p> <p>卒業研究</p>	<p>専 准教授 武藤 努 (38)</p> <p>専 准教授 武藤 努 (39)</p> <p>専 准教授 川又 淳 (43)</p> <p>専 教授 萩原 修 (54)</p> <p>専 教授 萩原 修 (54)</p>		<p>材料加工実習B (金属・樹脂・新素材)</p> <p>材料加工実習B (金属・樹脂・新素材)</p> <p>企画表現演習3</p> <p>企画表現演習6</p> <p>視覚デザインコラボレーション</p> <p>企画表現演習4</p> <p>企画表現演習4</p> <p>企画表現演習1</p> <p>企画表現演習7</p> <p>自立と体験2</p>	<p>教育効果向上のため担当教員の変更 (26)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (27)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更 (28)</p> <p>専任教員 (准教授) 退職のため担当教員の変更 (27)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p>
専	教授	シブヤ カズヨシ 渋谷 和良 (55)	平成26年4月	<p>自立と体験1</p> <p>表現基礎実習D (デッサン)</p> <p>表現基礎実習F (印刷技法)</p> <p>企画表現演習5</p> <p>企画表現演習6</p> <p>企画表現演習7</p> <p>視覚デザインコラボレーション</p> <p>自立と体験2</p> <p>卒業研究</p>	<p>専 准教授 吉岡 聖美 (49)</p> <p>専 教授 西本 剛己 (54)</p>		<p>自立と体験1</p> <p>企画表現演習5</p> <p>視覚デザインコラボレーション</p> <p>グラフィックデザインB</p> <p>グラフィックデザインB</p> <p>表現基礎実習C (イメージ描画)</p> <p>自立と体験1</p>	<p>新任教員採用のため担当科目削除 (26)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (27)</p> <p>教育効果向上のため担当者変更 (29)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の追加 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当者変更 (29)</p>
専	教授	タナカ ヒサタカ 田中 久隆 (53)	平成26年4月	<p>色彩学</p> <p>材料加工実習A (紙・布・木)</p> <p>生活デザイン基礎演習</p> <p>ファッションデザインA</p> <p>ファッションデザインB</p> <p>ファッションデザインC</p> <p>生活デザインコラボレーション</p> <p>自立と体験2</p> <p>卒業研究</p>	<p>専 教授 西本 剛己 (52)</p> <p>専 教授 浅井 治彦 (59)</p>		<p>色彩学</p> <p>生活デザインコラボレーション</p> <p>自立と体験2</p> <p>デザイン概論</p> <p>企画表現演習7</p> <p>企画表現演習2</p>	<p>教育効果向上のため担当教員の変更 (26)</p> <p>産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更 (28)</p> <p>新任教員採用のため担当科目削除 (26)</p> <p>教育効果向上のため担当教員追加 (26)</p> <p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当者変更 (29)</p>
専	教授	トミタ ヒロミ 富田 洋美 (64)	平成26年4月	<p>表現基礎実習A (平面構成)</p> <p>企画表現演習6</p> <p>視覚デザイン基礎演習</p> <p>グラフィックデザインA</p> <p>グラフィックデザインB</p> <p>グラフィックデザインC</p> <p>ブランディング論</p> <p>デザインマネジメント論</p> <p>卒業研究</p>	<p>専 教授 萩原 修 (54)</p> <p>専 教授 萩原 修 (55)</p>		<p>ブランディング論</p> <p>デザインマネジメント論</p> <p>デザイン概論</p> <p>企画表現演習2</p>	<p>教育効果向上のため担当教員の変更 (28)</p> <p>教育効果向上のため担当者変更 (29)</p> <p>教育効果向上のため担当教員追加 (26)</p> <p>教育効果向上のため担当教員追加 (26)</p>



												企画表現演習2 表現基礎実習F(印刷技法) 企画表現演習3	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)
専	准教授	イケガヤ タダシ 池谷 聡 (41)	平成26年4月	自立と体験1 企画表現演習1 企画表現演習2 企画表現演習3 企画表現演習4 企画表現演習5 企画表現演習6 自立と体験2 デザインキャリア特別講義 インターンシップ	兼任 教授	榎本 達彦 (63)						自立と体験1 卒業研究	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当教員追加(28)
専	准教授	ササキ ミノル 佐々木 果 (52)	平成26年4月	マンガ・アニメーション史 表現基礎実習C(イメージ描画) 企画表現演習1 視覚デザイン基礎演習 マンガデザインA マンガデザインB マンガデザインC 自立と体験2 ポップカルチャービジネス論 卒業研究	専 教授 専 准教授	渋谷 和良 (57) 田上 知之介 (39)						自立と体験2 デザイン概論 企画表現演習2 企画表現演習2 自立と体験2 自立と体験2 論考と構成 自立と体験1	昇格に伴う職位の変更(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 専任教員(准教授)退職のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 専任教員(教授)退職のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29)
専	准教授	タガミ トモノスケ 田上 知之介 (39)	平成26年4月	論考と構成 材料加工実習D(土・ガラス) クラフトデザインA 企画表現演習4 企画表現演習5 企画表現演習7 生活デザインコラボレーション ソーシャルデザイン論 卒業研究	兼任 講師 兼任 講師 専 教授	後任未定 清水 里佳 (34) 清水 里佳 (34) 塩野 麻理 (52) 後任未定 後任未定 後任未定 後任未定	平成27年4月 平成27年4月					論考と構成 クラフトデザインA 企画表現演習4 企画表現演習5 企画表現演習7 生活デザインコラボレーション ソーシャルデザイン論 卒業研究 企画表現演習2 企画表現演習2 自立と体験2 自立と体験2	退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更(27) 退職のため担当教員の変更(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 退職のため担当教員の変更、H28年度採用予定(27) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 退職のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 退職のため担当教員の変更(27)
専	准教授	ツチダ シュンスケ 土田 俊介 (40)	平成26年4月	論考と構成 表現基礎実習B(立体構成) 材料加工実習E(金属・樹脂・石膏材) クラフトデザインB 企画表現演習1 企画表現演習3 企画表現演習5 企画表現演習7 視覚デザイン基礎演習	兼任 講師 専 教授 専 教授	清水 里佳 (35) 浅井 治彦 (63) 萩原 修 (54)						論考と構成 クラフトデザインB 企画表現演習3 企画表現演習5 企画表現演習7 視覚デザイン基礎演習	教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 開講クラス数変更のため担当教員削除(27) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28)

				視覚デザインコラボレーション 卒業研究				視覚デザインコラボレーション コンピュータ表現基礎実習2 コンピュータ表現基礎実習3 メディアデザインA メディアデザインA 表現基礎実習C (イメージ描画) 表現基礎実習D (デッサン) 自立と体験2 プロダクトデザインA クラフトデザインA 企画表現演習2	産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更及び追加(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の追加(27) 教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28) 教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29)
専	准教授	ムトウ ツトム 武藤 努 (38)	平成26年4月	視覚メディア論 コンピュータ表現基礎実習 コンピュータ表現基礎実習2 企画表現演習6 メディアデザインA メディアデザインB メディアデザインC インターネットビジネス論 卒業研究	専 准教授 専 准教授 兼任 講師 専 教授	川又 淳 (44) 土田 俊介 (40) 松崎 良太 (47) 塩野 麻理 (53)	平成28年4月	コンピュータ表現基礎実習1 コンピュータ表現基礎実習2 企画表現演習6 企画表現演習6 メディアデザインB メディアデザインB インターネットビジネス論1 企画表現演習3 視覚デザイン基礎演習 デザイン概論 企画表現演習2 材料加工実習B(金属・樹脂・新素材) 材料加工実習B(金属・樹脂・新素材) 自立と体験1 自立と体験1	教員間の負担格差解消のため担当教員の変更(29) コマ数調整のため担当教員変更(26) 開講クラス数変更のため担当教員削除(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教員間の負担格差解消のため担当教員1名減(28) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(29) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員の追加(27) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29)
専	准教授	ヨシオカ キヨミ 吉岡 聖美 (49)	平成26年4月	デザイン概論 色彩学 デザイン史 デザインと文化 企画表現演習1 企画表現演習2 企画表現演習4 企画表現演習7 卒業研究	専 教授 専 准教授 専 准教授 専 教授 専 准教授	浅井 治彦 (59) 川又 淳 (43) 武藤 努 (38) 塩野 麻理 (53) 武藤 努 (40)		デザイン概論 色彩学 企画表現演習1 企画表現演習2 企画表現演習7 企画表現演習3 自立と体験1 自立と体験1 論考と構成 企画表現演習5	コマ数調整のため科目削除(26) コマ数調整のため科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) コマ数調整のため科目削除(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員追加(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28)
兼任	教授	ヤマト ヨコ 山本 陽子 (59)	平成26年4月	美術史概論 日本・東洋美術史					

兼任	講師	イシイ ヤスユキ 石井 保幸 (36)	平成26年4月	新規講義科目(レンダリング・モデリング)					プロダクトデザインC	教育効果向上のため担当教員追加(28)
兼任	講師	イシダ セイジ 石田 聖次 (55)	平成28年4月	照明演出論						
兼任	講師	ウチノ マサコ 内野 雅子 (69)	平成29年4月	デザインと法						
兼任	講師	オガワ シュンジ 小川 俊二 (61)	平成28年4月	インタラクティブデザイン論						
兼任	講師	カナイ ヒロミ 金井 宏水 (61)	平成26年4月	デザイン図学 デザイン製図実習 材料学						
兼任	講師	タケイ ショウヘイ 武井 祥平 (32)	平成28年4月	デザインとテクノロジー						
兼任	講師	タチカワ エイスケ 太刀川 英輔 (33)	平成26年4月	企画表現演習2					企画表現演習2	H25年度採用取り消し(26)
兼任	講師	ナガオ シゲキ 長尾 茂樹 (41)	平成26年4月	表現基礎実習E (レンダリング・モデリング)						
兼任	講師	ナカジョウ ダイスケ 仲條 大亮 (45)	平成28年4月	サウンドデザイン実習						
兼任	講師	ホンダ ショウイチ 細田 彰一 (48)	平成27年4月	デザインと人						
兼任	講師	マツガエ ヨシノリ 松枝 佳紀 (45)	平成27年4月	シナリオ制作実習	兼任	講師	神野 浩昌 (55)	平成28年4月	シナリオ制作実習	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
兼任	講師	ムシャ コウヘイ 武者 廣平 (62)	平成27年4月	デザインと人	兼任	講師	笠松 慶子 (44)	平成28年4月	デザインと人	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
兼任	講師	ヨコカワ コウジ 横川 耕二 (46)	平成27年4月	デジタル工作実習						
	専	教授	萩原 修 (52)	平成26年4月	企画表現演習1 企画表現演習1 企画表現演習2 企画表現演習2 自立と体験1 自立と体験1 自立と体験2 企画表現演習3 企画表現演習4 企画表現演習5 企画表現演習7 模擬デザインコラボレーション 生活デザインコラボレーション ソーシャルデザイン論 ブランディング論 卒業研究 デザインマネジメント論					専任教員新規採用(26) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) 産学連携による授業方法の採用に伴い、担当教員を変更(28) 27年度退職教員の後任(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(29)

					専 准教授	川又 淳 (43)	平成28年4月	企画表現演習1 企画表現演習2 <del>企画表現演習2</del> 企画表現演習6 コンピュータ表現基礎実習2 表現基礎実習A(平面構成) <del>表現基礎実習A(平面構成)</del> 表現基礎実習C(イメージ描画) <del>表現基礎実習C(イメージ描画)</del> 表現基礎実習F(印刷技法) <del>表現基礎実習F(印刷技法)</del> グラフィックデザインA グラフィックデザインC 卒業研究 コンピュータ表現基礎実習1	専任教員新規採用(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教員間の負担格差解消のため担当教員の変更(29)	
					兼任	講師	千崎 千恵夫 (60)	平成26年4月	表現基礎実習D(デッサン) <del>表現基礎実習D(デッサン)</del> 表現基礎実習B(立体構成) <del>表現基礎実習B(立体構成)</del>	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(29) 非常勤講師新規採用(26) 兼任講師就任辞退のため担当教員1名減(29)
					兼任	講師	水貝 善樹 (60)	平成26年4月	表現基礎実習D(イメージ描画)	非常勤講師新規採用(26)
					兼任	講師	谷田 幸 (33)	平成26年4月	コンピュータ表現基礎実習1 コンピュータ表現基礎実習1	非常勤講師新規採用(26) 兼任講師就任辞退(28)
					兼任	講師	早瀬 交宣 (38)	平成26年4月	コンピュータ表現基礎実習2 コンピュータ表現基礎実習1	非常勤講師新規採用(26) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	エリオット・ バーグマン (55)	平成27年4月	表現基礎実習A(平面構成) <del>表現基礎実習A(平面構成)</del> 表現基礎実習A(平面構成) グラフィックデザインB	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)
					兼任	講師	松野 良則 (47)	平成27年4月	グラフィックデザインA	教育効果向上のため担当教員の追加(27)
					兼任	講師	観堂 達樹 (59)	平成27年4月	グラフィックデザインA グラフィックデザインA	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 専任教員(准教授)採用のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	渡辺 恭輔 (46)	平成27年4月	メディア表現実習	非常勤講師新規採用(27)
					兼任	講師	下後 充代 (44)	平成27年4月	ファッションデザインA ファッションデザインB	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 教育効果向上のため担当教員の追加(27)
					兼任	講師	山田 佳一郎 (41)	平成27年4月	プロダクトデザインA プロダクトデザインA	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	清水 里佳 (34)	平成27年4月	材料加工実習C(土・ガラス) クラフトデザインA クラフトデザインA クラフトデザインB	専任教員(准教授)退職ため担当教員の変更(27) 専任教員(准教授)退職ため担当教員の変更(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(28) 教育効果向上のため担当教員の変更(28)
					兼任	講師	石井 健 (45)	平成27年4月	インテリアデザインB	教育効果向上のため担当教員の変更(27)
					兼任	講師	石井 海 (35)	平成27年4月	プロダクトデザインB コンピュータ表現応用実習	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 教育効果向上のため担当教員の変更(27)
					兼任	講師	久世 祥三 (40)	平成27年4月	メディアデザインB <del>メディアデザインB</del>	教育効果向上のため担当教員の追加(27) 兼任講師就任辞退のため担当教員変更(29)
					兼任	講師	飯田 崇 (46)	平成27年4月	マンガデザインB	教育効果向上のため担当教員の追加(27)

					兼任 講師	白水 悠一郎 (34)	平成28年4月	表現基礎実習D (デッサン) 表現基礎実習C (イメージ描画)	教育効果向上のため担当教員の追加(28) 教育効果向上のため担当者変更(29)
					兼任 講師	丸山 達也 (38)	平成28年4月	表現基礎実習D (デッサン)	教育効果向上のため担当教員の追加(28)
					兼任 講師	笠松 慶子 (44)	平成28年4月	デザインと人	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
					兼任 講師	神野 浩昌 (54)	平成28年4月	シナリオ制作実習	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(28)
					兼任 講師	星 樹理亜 (34)	平成28年4月	材料加工実習C (土・ガラス)	専任教員(教授)退職のため担当教員の変更(28)
					兼任 講師	石塚 英樹 (41)	平成28年4月	メディアデザインC	教育効果向上のため担当教員の追加(28)
					兼任 講師	松崎 良太 (47)	平成28年4月	インターネットビジネス論 インターネットビジネス論	教育効果向上のため担当教員の追加(28) 兼任講師辞退のため担当教員変更(29)
					兼任 講師	空谷 圭章 (36)	平成29年4月	表現基礎実習D (デッサン)	兼任講師就任辞退のため担当教員変更(29)
					兼任 講師	平藤 篤 (37)	平成29年4月	インターネットビジネス論	兼任講師辞退のため担当教員変更(29)

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	イマワカ ヒサ 今福 一寿 (55)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4						
兼任	教授	カガツ ヲ村 岡田 恒雄 (65)	平成26年4月	外国語(ドイツ語)1A 外国語(ドイツ語)2A 人文科学論2					上級ドイツ語1 教育効果向上のため担当教員変更(27)  上級ドイツ語2 教育効果向上のため担当教員変更(27) 上級ドイツ語3 教育効果向上のため担当者変更(29)	教育効果向上のため担当者変更(27)  教育効果向上のため担当者変更(29) →佐々木滋へ
兼任	教授	カヤマ フミヤ 片山 文保 (63)	平成26年4月	哲学1 哲学4 思想への招待	兼任	教授	村井 則夫 (52)		哲学1   哲学2 外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A	教育効果向上のため担当教員変更(26)  教育効果向上のため担当者変更(29) →能登省二へ  教育効果向上のため担当教員変更(26)  教育効果向上のため担当者変更(29) →能登省二へ  教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当者変更(29)
兼任	教授	カネ ケイジ 金子 敬二 (60)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4						
兼任	教授	カネ ヨシキ 金子 慶之 (48)	平成26年4月	地球惑星学2						
兼任	教授	キチ シゲオ 菊地 滋夫 (48)	平成26年4月	文化人類学1 文化人類学2						
兼任	教授	コウヤマ アキコ 河内山 晶子 (57)	平成26年4月	映画と音楽で学ぶ英語					特別講義1  外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	教育効果向上のため担当教員変更(26)  前任教員退職による担当者変更(28) 前任教員退職による担当者変更(28) 前任教員退職による担当者変更(28) 前任教員退職による担当者変更(28)
兼任	教授	コガマ マコト 児玉 誠 (66)	平成26年4月	法学1 法学2(日本国憲法)						
兼任	教授	コハヤシ ヒサシ 小林 一岳 (56)	平成26年4月	人文科学論1 日本史1						
兼任	教授	ササキ シゲル 佐々木 滋 (65)	平成26年4月	外国語(ドイツ語)1B 外国語(ドイツ語)2B 外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B						

				上級ドイツ語 1	兼任 教授	岡田 恒雄 (66)		上級ドイツ語 1	教育効果向上のため担当教員変更 (27)
				上級ドイツ語 2	兼任 教授	岡田 恒雄 (66)		上級ドイツ語 1	教育効果向上のため担当者変更 (29)
				上級ドイツ語 3	兼任 教授	岡田 恒雄 (68)		上級ドイツ語 2	教育効果向上のため担当教員変更 (27)
				上級ドイツ語 4	兼任 教授	岡田 恒雄 (68)		上級ドイツ語 3	教育効果向上のため担当教員変更 (29)
兼任	教授	シヤマ ヒロミ 篠山 浩文 (53)	平成 26 年 4 月	科学コミュニケーション論 自然科学史 生物学 1 生物学 4 人類と環境	兼任 講師	齋藤 政則 (49)	平成 27 年 4 月	自然科学史	教育効果向上のため担当教員変更 (27)
兼任	教授	ジャン インケルスト J. インケルスト (60)	平成 26 年 4 月	言語学 1 言語学 2 外国事情 1 人文科学論 4					外国語 (英語) 1 B 前任教員退職のため担当者変更 (29) 外国語 (英語) 2 B 前任教員退職のため担当者変更 (29) 外国語 (英語) 3 B 教育効果向上のため担当者変更 (29) 外国語 (英語) 4 B 教育効果向上のため担当者変更 (29)
兼任	教授	スギキト 材 鈴木 時男 (57)	平成 26 年 4 月	外国語 (英語) 3 A 外国語 (英語) 4 A 21世紀経済への視点 1 21世紀経済への視点 2 特別講義 1 特別講義 2 特別講義 3 特別講義 4	兼任 教授	河内山 晶子 (57)		特別講義 1	教育効果向上のため担当教員変更 (26)
兼任	教授	セイマイ ヨシヒロ 清宮 義博 (63)	平成 26 年 4 月	科学技術論 1 科学技術論 2					
兼任	教授	ツカガ シンイチ 塚田 真一 (44)	平成 26 年 4 月	統計学 1 統計学 2					
兼任	教授	トガシ シン 富樫 伸 (58)	平成 26 年 4 月	生物学 2 生物学 3					
兼任	教授	ニムラ ケン 二村 健 (60)	平成 26 年 4 月	情報社会文化論 1 情報社会文化論 2 図書館の基礎と展望					
兼任	教授	ハヤシ シンイチ 林 伸一郎 (53)	平成 26 年 4 月	宗教学 1 宗教学 2 上級フランス語 3 上級フランス語 4	兼任 教授 兼任 教授	丸山 正義 (67) 丸山 正義 (67)		上級フランス語 3 上級フランス語 4	教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 外国語 (フランス語) 1 A 前任教員退職のため担当者変更 (29)
兼任	教授	ハヤシ ユウスケ 林 雄介 (51)	平成 26 年 4 月	外国語 (韓国語) 1 B 外国語 (韓国語) 2 A 外国語 (韓国語) 2 B 上級韓国語 1 上級韓国語 2 日本史 2	兼任 教授 兼任 教授 兼任 准教授 兼任 准教授 兼任 准教授	秀村 研三 (58) 秀村 研三 (58) 金 庚芬 (44) 金 庚芬 (44) 金 庚芬 (44)		上級韓国語 1 上級韓国語 2 上級韓国語 3 上級韓国語 4 外国事情 2 外国語 (韓国語) 1 A	教育効果向上のため担当教員変更 (26) 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当教員変更 (26) 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更 (26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当教員変更 (27)
兼任	教授	ハラタ ヒサシ 原田 久志 (63)	平成 26 年 4 月	化学 1 化学 2	兼任 講師	中村 克己 (58)	平成 26 年 4 月	化学 2	科目担当教員を非常勤へ変更 (26)

					兼担	教授	秀村 研二 (58)	平成26年4月	上級韓国語1 上級韓国語2 外国語(韓国語)3B	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →林 雄介教授へ 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →林 雄介教授へ 教育効果向上のため担当教員変更(28)
兼担	教授	ヒライ マサキ 平井 正樹 (69)	平成26年4月	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2	兼担 兼担	准教授 准教授	上田 耕造 (36) 上田 耕造 (36)		西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化1	H27年3月平井正樹教授退職による 担当教員変更(27) H27年3月平井正樹教授退職による 担当教員変更(27)
兼担	教授	フカワ キヨシ 深澤 清 (52)	平成26年4月	地図を読む						
兼担	教授	ホー ル ロバートソン P. E. ロバートソン (65)	平成26年4月	異文化体験 上級英語1 上級英語2	兼担 兼担	准教授 准教授	T. バーデン (43) T. バーデン (43)	平成26年4月 平成26年4月	上級英語1 上級英語2 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27)
					兼担	准教授	T. バーデン (43)	平成26年4月	上級英語1 上級英語2 上級英語3 上級英語4 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当科目追加 (27) 教育効果向上のため担当科目追加 (27) 前任教員退職による担当教員変更(27) 前任教員退職による担当教員変更(27)
兼担	教授	マルヤマ マサヨシ 丸山 正義 (65)	平成26年4月	外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3	兼担 兼担	教授 教授	片山 文保 (63) 片山 文保 (63)		外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 前任者退職のため担当教員変更(28) 前任者退職のため担当教員変更(28)
					兼担	教授	三木 友里 (68)	平成27年4月	上級中国語3 上級中国語4	教育効果向上のため担当教員変更(27) 前任教員退職のため担当者変更 (29) →藪 小榕へ 教育効果向上のため担当教員変更(27) 前任教員退職のため担当者変更 (29) →藪 小榕へ
兼担	教授	ムライ ノリオ 村井 則夫 (51)	平成26年4月	哲学2 倫理学1 倫理学4	兼担 兼任 兼担	教授 講師 教授	片山 文保 (63) 佐々木 昭則 (49) 山下 善明 (65)	平成26年4月	哲学2 倫理学1 倫理学4 哲学1 哲学3	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 前任教員退職のため担当者変更(29) →浜野 喬士へ 教育効果向上のため担当科目追加(27) 前任教員退職のため担当者変更(29) →浜野 喬士へ
					兼担	准教授	浜野 喬士 (40)	平成29年4月	哲学1 哲学3	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29)
兼担	教授	ヤマシタ ヨシキ 山下 善明 (65)	平成26年4月	倫理学2 美学2 言葉の思想 女性の生き方	兼任 兼担	講師 教授	佐々木 昭則 (49) 西村 美香 (53)	平成26年4月 平成26年4月	倫理学2 美学2 倫理学4 美学1 美学4	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 前任教員退職のため担当教員変更(26) 前任教員退職のため担当教員変更(26)
					兼担	教授	西村 美香 (53)	平成26年4月	美学2 美学3	教育効果向上のため担当教員変更(26) 前任教員退職のため担当教員変更(26)



兼担	教授	ヨシガ イイチ 吉川 榮一 (59)	平成28年4月	上級中国語1 上級中国語2	兼担 兼担	准教授 准教授	山崎 藍 (36) 山崎 藍 (36)	平成26年4月 平成26年4月	上級中国語1 上級中国語2 外国語(中国語)3B 外国語(中国語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 前任者退職のため担当教員変更(28) 前任者退職のため担当教員変更(28)
					兼担	准教授	山崎 藍 (36)	平成26年4月	上級中国語1 上級中国語2 外国語(中国語)2B 上級中国語3 上級中国語4 外国語(中国語)1B	教育効果向上のため担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(26) 前任教員退職による補充(26) 新任教員採用による担当科目変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →三木友里教授へ 新任教員採用による担当科目変更(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →三木友里教授へ 前任者退職のため担当教員変更(28)
					兼担	教授	叢 小榕 (62)	平成29年4月	外国語(中国語)3A 外国語(中国語)4A 上級中国語3 上級中国語4	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29) 前任者退職のため担当者変更(29) 前任者退職のため担当者変更(29)
					兼担 兼担	准教授 教授	浅井 正行 (46) 浅井 正行 (48)	平成27年4月	ボランティア実践1 ボランティア実践2	教育効果向上のため科目・担当教員追加(27) 教育効果向上のため科目・担当教員追加(27) 職位変更(29)
					兼担	准教授	上田 耕造 (36)	平成27年4月	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2	H27年3月平井正樹教授退職による 担当教員変更(27) H27年3月平井正樹教授退職による 担当教員変更(27)
兼担	准教授	ウチノ トモ 内田 富男 (53)	平成26年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語	兼担	助教	藤原 愛 (38)	平成26年4月	異文化で学ぶ英語	教育効果向上のため担当教員変更(26)
兼担	准教授	イモト タカ 榎本 立雄 (61)	平成26年4月	情報リテラシーa 情報リテラシーb						
兼担	准教授	イモト タカ 榎本 達彦 (62)	平成28年4月	自立と体験4	兼担	教授	榎本 達彦 (63)		キャリアデザイン2 自立と体験1 自立と体験3	職位変更(29) 教育効果向上のため科目・担当教員追加(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) 前任者退職のため担当者変更(29)
兼担	准教授	キム キョンフン 金 庚芬 (43)	平成26年4月	外国語(韓国語)3B 外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2	兼任 兼任 兼担 兼担 兼担	講師 講師 教授 教授 教授	吉川 友文 (47) 吉川 友文 (47) 林 雄介 (51) 林 雄介 (51) 林 雄介 (51)	平成26年4月 平成26年4月	外国語(韓国語)3B 外国語(韓国語)3B 外国語(韓国語)4B 外国語(韓国語)4B 上級韓国語3 上級韓国語3 上級韓国語4 上級韓国語4 外国事情2 外国事情2	特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当者変更(28) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 金 庚芬准教授へ
					兼任	講師	吉川 友文 (47)	平成26年4月	外国語(韓国語)3B 外国語(韓国語)4B	特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 金 庚芬准教授へ
兼担	准教授	キタ ヨウイチ 清田 洋一 (58)	平成26年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A						
兼担	准教授	サハラ テコ 笹原 千穂子 (39)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼担 兼担 兼担 兼担	助教 助教 助教 助教	坂本 拓弥 (28) 坂本 拓弥 (28) 坂本 拓弥 (28) 坂本 拓弥 (28)	平成27年4月 平成27年4月 平成27年4月 平成27年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27)
兼担	准教授	スズキ ヒロコ 鈴木 浩子 (54)	平成27年4月	自立と体験3 自立と体験4	兼担	教授	鈴木 浩子 (56)		キャリアデザイン1	職位変更(29) 教育効果向上のため科目・担当教員追加(27)

					兼任	准教授	高橋 南海子 (46)	平成27年4月	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1	教育効果向上のため担当教員追加(27) 教育効果向上のため担当教員追加(27) 教育効果向上のため科目・担当教員追加(27)
兼任	准教授	ミヤム リヒテ 宮村 典秀 (36)	平成26年4月	物理学1 物理学2						
兼任	准教授	ムカヨシ 村岡 慈歩 (44)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼任	教授	村岡 慈歩 (44)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	職位変更(准教授→教授)(26) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27) 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了による担当教員変更(27)
					兼任	講師	安田 翼 (35)	平成26年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了により退職(27) →村岡 慈歩教授へ 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了により退職(27) →村岡 慈歩教授へ 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了により退職(27) →村岡 慈歩教授へ 特別研究機関制度適用による担当教員変更(26) 特別研究機関制度終了により退職(27) →村岡 慈歩教授へ
兼任	准教授	モキヒテアキ 百木 英明 (66)	平成27年4月	自立と体験3	兼任	教授	榎本 達彦 (63)	平成29年4月	自立と体験3	前任者退職のため担当者変更(29)
兼任	准教授	ヤマザキ モトヤ 山崎 元泰 (42)	平成26年4月	現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2	兼任	教授	山崎 元泰 (45)			職位変更(29)
					兼任	講師	A. ジュロー (30)	平成27年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
兼任	講師	アゲル アナバト A. パトコー (27)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	講師	A. ジュロー (30)	平成27年4月	外国語(英語)1B	教育効果向上のため担当教員変更(27)
					兼任	講師	A. ジュロー (30)	平成27年4月	外国語(英語)2B	教育効果向上のため担当教員変更(27)
					兼任	講師	A. ジュロー (30)	平成27年4月	外国語(英語)3B	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	A. ジュロー (30)	平成27年4月	外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	E. ボーパン (35)	平成28年4月	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
兼任	講師	グリストワー フィッツジェラルド C. フィッツジェラルド (26)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B	兼任	講師	M. ネアゴエ (27)		外国語(英語)1B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	M. ネアゴエ (27)		外国語(英語)2B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	M. ネアゴエ (27)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B	前任教員退職による補充(26) 26年度末退職(一身上の都合)(27) →R. グールド講師へ 前任教員退職による補充(26) 26年度末退職(一身上の都合)(27) →R. グールド講師へ
					兼任	講師	D. A. アイザックス (49)	平成27年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	前任教員退職による補充(27) 前任教員退職による補充(27) 前任教員退職による補充(27) 前任教員退職による補充(27)
兼任	講師	ジェイムズ マイケル ブライア J. ブライア (50)	平成27年4月	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	教授	P. E. ロバートソン (66)		外国語(英語)3B	教育効果向上のため担当者変更(27)
					兼任	教授	P. E. ロバートソン (66)		外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当者変更(27)
兼任	講師	ジェニファー モーガン J. モーガン (52)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	講師	T. ドゥワンデラー (31)	平成26年4月	外国語(英語)1B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	T. ドゥワンデラー (31)	平成26年4月	外国語(英語)2B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	T. ドゥワンデラー (31)	平成26年4月	外国語(英語)3B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	T. ドゥワンデラー (31)	平成26年4月	外国語(英語)4B	25年度末退職(一身上の都合)(26)

					兼任	講師	T. ドウワンデラー (31)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	前任教員退職による補充(26) 前任教員退職による補充(26) 前任教員退職による補充(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →I.ハンター講師へ 前任教員退職による補充(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →I.ハンター講師へ
兼任	講師	テイヨ 鄭楊 (42)	平成26年4月	外国語(中国語)2B	兼任	准教授	山崎 藍 (36)	平成26年4月	外国語(中国語)2B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
兼任	講師	ハクレイグ H. クレイグ (38)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	講師	G. O. アデボノジョ (25)	平成26年4月	外国語(英語)1B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	G. O. アデボノジョ (25)	平成26年4月	外国語(英語)2B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	G. O. アデボノジョ (25)	平成26年4月	外国語(英語)3B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	G. O. アデボノジョ (25)	平成26年4月	外国語(英語)4B	25年度末退職(一身上の都合)(26)
					兼任	講師	G. O. アデボノジョ -(25)-	平成26年4月	外国語(英語)1B	4(26)前任教員退職による担当教員変更(26) 前任教員退職のため担当者変更(29) →J.イングルスルドへ
									外国語(英語)2B	4(26)前任教員退職による担当教員変更(26) 前任教員退職のため担当者変更(29) →J.イングルスルドへ
									外国語(英語)3B	4(26)前任教員退職による担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当者変更(28)
									外国語(英語)4B	4(26)前任教員退職による担当教員変更(26) 教育効果向上のため担当者変更(28)
					兼任	講師	M. メネギーニ -(51)-	平成28年4月	外国語(英語)3B	教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) →J.イングルスルドへ
									外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当者変更(29) →J.イングルスルドへ
兼任	講師	マレン アンドルー マレン M. A. マレン (36)	平成27年4月	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	准教授	T. バーデン (44)		外国語(英語)3B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
					兼任	准教授	T. バーデン (44)		外国語(英語)4B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
兼任	講師	リン サウ 林 珊羽 (31)	平成29年4月	上級中国語3 上級中国語4	兼任	准教授	山崎 藍 (36)	平成26年4月	上級中国語3	新任教員採用による担当科目変更(26)
					兼任	准教授	山崎 藍 (36)	平成26年4月	上級中国語4	新任教員採用による担当科目変更(26)
兼任	講師	ロス オウロックリン R. オウロックリン (24)	平成26年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B	兼任	講師	D. A. アイザックス (49)	平成27年4月	外国語(英語)1B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
					兼任	講師	D. A. アイザックス (49)	平成27年4月	外国語(英語)2B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
					兼任	講師	D. A. アイザックス (49)	平成27年4月	外国語(英語)3B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
					兼任	講師	D. A. アイザックス (49)	平成27年4月	外国語(英語)4B	26年度末退職(一身上の都合)(27)
兼任	助教	フジワ アイ 藤原 愛 (39)	平成27年4月	外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	兼任	准教授	藤原 愛 (39)			職位変更(助教→准教授)(27)
								平成26年4月	異文化で学ぶ英語	教育効果向上のため担当教員変更(26) 前任教員退職による補充(26) 教育効果向上のため担当教員変更(27) →林 雄介教授へ
								平成26年4月	外国語(韓国語)1A	
					兼任	助教	坂本 拓弥 (28)	平成27年4月	健康・スポーツ演習1	教育効果向上のため担当教員変更(27)
									健康・スポーツ演習2	教育効果向上のため担当教員変更(27)
									健康・スポーツ演習3	教育効果向上のため担当教員変更(27)
									健康・スポーツ演習4	教育効果向上のため担当教員変更(27)
					兼任	准教授	坂本 拓弥 (30)			職位変更(29)
					兼任	講師	R. グールド -(58)-	平成27年4月	外国語(英語)1B	前任教員退職のため新規採用(27) 前任者退職のため担当教員変更(28)
									外国語(英語)2B	前任教員退職のため新規採用(27) 前任者退職のため担当教員変更(28)
					兼任	講師	T. ハンター (49)	平成27年4月	外国語(英語)3B	教育効果向上のため担当者変更(27)
									外国語(英語)4B	教育効果向上のため担当者変更(27)

					兼任 講師	A. バーグマン (64)	平成28年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B	前任者退職のため担当者変更(28) 前任者退職のため担当者変更(28)
兼任	講師	アサヒ カツリ 青木 克憲 (57)	平成26年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A					
兼任	講師	アトウ ミチ 安藤 道夫 (46)	平成26年4月	論理学1 論理学2					
兼任	講師	アトウ ユウ 安藤 雄太 (65)	平成26年4月	ボランティア論	兼任 講師	枝見 太郎 (56)	平成26年4月	ボランティア論	一身上の都合による退職(26)
兼任	講師	イナシ マチ 五十嵐 正敏 (52)	平成26年4月	自然科学入門1 自然科学入門2					
兼任	講師	イナシ マチ 石川 正弘 (47)	平成26年4月	地球惑星学1					
兼任	講師	イトウ キョウ 伊藤 教子 (42)	平成26年4月	心理学2					
					兼任 講師	井上 愛 (32)	平成27年4月	日本の芸能1 日本の芸能2	前任教員退職のため新職採用(27) 前任者退職のため担当者変更(28) 兼任教員退職のため新職採用(27) 前任者退職のため担当者変更(28)
					兼任 講師	井上 愛 (34)	平成29年4月	日本の芸能1 日本の芸能2	前任担当者退職のため担当者変更(29) 前任担当者退職のため担当者変更(29)
兼任	講師	イワタ ミチ 岩隈 道洋 (40)	平成27年4月	情報法制論					
兼任	講師	ウガイ マチ 鵜飼 政志 (49)	平成27年4月	日本史3 日本史4					
兼任	講師	ウヒラ セツ 梅比良 節子 (60)	平成27年4月	外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A	兼任 教授 兼任 教授	片山 文保 (66) 片山 文保 (66)	平成29年4月 平成29年4月	外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)
					兼任 講師	枝見 太郎 (56)	平成26年4月	ボランティア論	前任教員退職による補充(26)
兼任	講師	ウズイライ 王 瑞来 (57)	平成26年4月	中国の歴史と文化1 中国の歴史と文化2					
兼任	講師	オイ コ 大井 直子 (64)	平成26年4月	心理学1					
兼任	講師	オシマ ショウ 大島 省子 (68)	平成26年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	兼任 教授	河内山 晶子 (59)	平成28年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A	27年度未定年退職(28) 27年度未定年退職(28) 27年度未定年退職(28) 27年度未定年退職(28)
兼任	講師	オノ ユウジ 大野 祐二 (50)	平成26年4月	外国語(韓国語)3A 外国語(韓国語)4A					
兼任	講師	オマガリ ヨウ 大曲 陽子 (54)	平成26年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A					
兼任	講師	カテイ 郭 テイ (49)	平成26年4月	外国語(中国語)2A	兼任 講師	杉本 公子 (44)		外国語(中国語)2A 外国語(中国語)3A 外国語(中国語)4A	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当者変更(29) 一兼 小椋へ 教育効果向上のため担当教員変更(27)

												教育効果向上のため担当者変更 (29) 一歳 小榕へ
兼任	講師	かヤマ カアキ 神山 敬章 (62)	平成26年4月	生涯学習論1 生涯学習論2	兼任	教授	神山 敬章 (64)					職位変更 (28)
					兼任	講師	倉持 長子 (49)	平成28年4月	日本の芸能1  日本の芸能2			<del>前任担当者退職のため担当教員変更 (28)</del> 前任担当者退職のため担当者変更 (29) 一井上 愛へ <del>前任担当者退職のため担当教員変更 (28)</del> 前任担当者退職のため担当者変更 (29) 一井上 愛へ
					兼任	講師	齋藤 政則 (49)	平成27年4月	自然科学史			教育効果向上のため担当教員変更 (27)
兼任	講師	サイトウ リョウコ 齊藤 良子 (34)	平成26年4月	外国語 (韓国語) 1 A	兼任	助教	藤原 愛 (38)	平成26年4月	外国語 (韓国語) 1 A			2013年9月8日退職 (一身上の都合) (26)
兼任	講師	ササキ アキリ 佐々木 昭則 (50)	平成27年4月	倫理学3				平成26年4月 平成26年4月	倫理学1 倫理学2			教育効果向上のため担当教員変更 (26) 教育効果向上のため担当教員変更 (26)
兼任	講師	サトウ コウヘイ 佐藤 耕平 (38)	平成26年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4								
兼任	講師	スギモト ミモ 杉本 公子 (44)	平成27年4月	外国語 (中国語) 3 A  外国語 (中国語) 3 B 外国語 (中国語) 4 A  外国語 (中国語) 4 B	兼任	講師	郭 テイ (51)  白 愛仙 (51) 郭 テイ (51)  白 愛仙 (51)		外国語 (中国語) 3 A  外国語 (中国語) 3 B 外国語 (中国語) 4 A  外国語 (中国語) 4 B 外国語 (中国語) 1 A 外国語 (中国語) 2 A			教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当者変更 (29) 一歳 小榕へ 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 前任者退職のため担当教員変更 (28) 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当者変更 (29) 一歳 小榕へ 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 前任者退職のため担当教員変更 (28) 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当者変更 (29) 一歳 丹梨へ 教育効果向上のため担当教員変更 (27) 教育効果向上のため担当者変更 (29) 一歳 丹梨へ
					兼任	講師	董 丹梨 (56)		外国語 (中国語) 1 A 外国語 (中国語) 2 A			教育効果向上のため担当者変更 (29) 教育効果向上のため担当者変更 (29)
兼任	講師	タカミ ケンイチ 高見 研一 (53)	平成26年4月	日本語1 A 日本語1 B 日本語2 A 日本語2 B								
兼任	講師	タキモト ジュンコ 滝本 順子 (40)	平成26年4月	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2								
兼任	講師	タケウチ マサキ 竹内 雅明 (26)	平成26年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4								
兼任	講師	タケダ リサ 武田 里子 (57)	平成26年4月	社会に生きる私たちの人権								
兼任	講師	タナカ トシジ 田中 藤司 (47)	平成26年4月	日本民俗学1 日本民俗学2								
兼任	講師	ツカシマ アツコ 塚越 敦子 (58)	平成26年4月	外国語 (フランス語) 1 A	兼任	教授	林 伸一郎 (56)		外国語 (フランス語) 1 A			前任教員退職のため担当者変更 (29)

					兼任 講師	中村 克己 (58)	平成26年4月	化学2	教育効果向上のため担当教員変更(26)
兼任	講師	ナトリ シウイチ 名取 修一 (60)	平成26年4月	グローバル時代の経営1 グローバル時代の経営2					
兼任	講師	ノト ショウジ 能登 省二 (55)	平成26年4月	外国語(フランス語)2A				外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B	教育効果向上のため担当教員変更(29) 教育効果向上のため担当教員変更(29)
兼任	講師	ハク アイチ 白 愛仙 (50)	平成26年4月	外国語(中国語)1A	兼任 講師	杉本 公子 (44)		外国語(中国語)1A 外国語(中国語)1B 外国語(中国語)3B 外国語(中国語)4B	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(28)
兼任	講師	ハセガワ ミヅル 長谷川 満 (44)	平成27年4月	自立と体験3 自立と体験4	兼任 准教授 兼任 准教授	高橋 南海子 (46) 高橋 南海子 (46)		自立と体験3 自立と体験4	教育効果向上のため担当教員変更(27) 教育効果向上のため担当教員変更(27)
兼任	講師	ハヤシ トオル 林 徹 (55)	平成26年4月	考古学1 考古学2					
兼任	講師	ハヤシ ミチオ 林 幹夫 (64)	平成26年4月	教育学1 教育学2					
兼任	講師	ハラタケ アキコ 原田 明子 (42)	平成26年4月	外国の文学1 外国の文学2	兼任 教授	丸山 正義 (68)	平成28年4月	外国の文学1 外国の文学2	前任者退職のため担当教員変更(28) 前任者退職のため担当教員変更(28)
兼任	講師	ヒサキ マサキ 疋田 雅昭 (43)	平成26年4月	日本の文学1 日本の文学2					
兼任	講師	マツモト ナオヒサ 松本 尚久 (42)	平成26年4月	日本の芸能1 日本の芸能2		和田 尚久		日本の芸能1 日本の芸能2	苗字変更(26) 26年度末退職(一身上の都合)(27) →井上愛兼任講師へ 26年度末退職(一身上の都合)(27) →井上愛兼任講師へ
兼任	講師	ミハラ ダイスケ 三原 大介 (52)	平成26年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4					
兼任	講師	ムヤマ ヤスオ 村山 康男 (65)	平成26年4月	美学1 美学3 美学4	兼任 教授 兼任 教授 兼任 教授	山下 善明 (65) 西村 美香 (53) 山下 善明 (65)		美学1 美学3 美学4	H25年度末退職(体調不良)(26) H25年度末退職(体調不良)(26) H25年度末退職(体調不良)(26)
兼任	講師	モリ タニ 毛 丹 (51)	平成26年4月	外国語(中国語)1B	兼任 講師	白 愛仙 (51)		外国語(中国語)1B	教育効果向上のため担当教員変更(27) 前任者退職のため担当教員変更(28)
兼任	講師	モリカキ テエコ 森岡 千枝子 (58)	平成26年4月	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情1 日本事情2					
兼任	講師	ヤト ミツキ 谷戸 光昭 (39)	平成26年4月	基礎数学1 基礎数学2					

- (注)
- ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	6	0	0	13	8	5	0	0	13	8	5	0	0	13
(9)	(6)	(0)	(0)	(15)						[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 又は 70 （着任時期により異なる） 歳	0	0
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	榊原 八朗	必修	企画表現演習 1	①	定年退職のため (27)	
			必修	企画表現演習 2	①		
2	准教授	田上 知之介	必修	自立と体験 2	①	一身上の都合による退職のため (27)	
			必修	企画表現演習 2	①		
			必修	企画表現演習 4	①		
			必修	企画表現演習 5	①		
			必修	企画表現演習 7	③		
			必修	卒業研究	①		
			選択	材料加工実習 C (土・ガラス)	②		
			選択	論考と構成	③		
選択	クラフトデザイン A	②					
選択	生活デザインコラボレーション	③					
選択	ソーシャルデザイン論	①					
3	教授	佐久間 美智子	必修	企画表現演習 2	①		定年退職のため (28)
		必修	企画表現演習 3	①			
4	教授	岡本 文一	必修	企画表現演習 1	③	一身上の都合による退職のため (28)	
			必修	企画表現演習 3	①		
			必修	企画表現演習 4	①		
			選択	デザインと文化	③		
			選択	材料加工実習 C (土・ガラス)	②		
選択	論考と構成	①					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
4	人	必修	13 科目	必修	11 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	2 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	21 科目	計	13 科目	計	3 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)			②の合計数(b)			③の合計数(c)		
4 人	必修	13 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	2 科目			
	選択	8 科目	選択	2 科目	選択	3 科目	選択	3 科目			
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
	計	21 科目	計	13 科目	計	3 科目	計	5 科目			

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

佐久間美智子(教授)：当初の教員配置計画から退職を予定しており、当該教員の担当科目については他の専任(兼任)教員を配置しているため、科目運営上問題はない。

岡本文一(教授)：平成28年度の当該教員の担当科目については、他の専任(兼任)教員を配置しているため、科目運営上問題はない。また、平成28年度以降の当該教員の担当科目については、当該年度までに担当教員を補充する計画であり、問題は生じない。なお、担当教員の交代については、ガイダンス等を通じて学生に周知を図っており、学生の履修に支障はない。(28)

榑原八朗(教授)：当初の教員配置計画から退職を予定しており、当該教員の担当科目については他の専任(兼任)教員を配置しているため、科目運営上問題はない。

田上知之介(准教授)：平成27年度の当該教員の担当科目については他の専任(兼任)教員を配置しているため、科目運営上問題はない。

また、平成28年度以降の当該教員の担当科目については、当該年度までに担当教員を補充する計画であり、問題は生じない。なお、担当教員の交代についてはガイダンス等を通じて学生に周知を図っており、学生の履修に支障はない。(27)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年6月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	<p>既設学部等（いわき明星大学科学技術学部科学技術学科、人文学部表現文化学科、現代社会学科、薬学部薬学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>いわき明星大学においては、平成23年の東日本大震災及び原発事故の影響により、志願者数が著しく減少し、その後、種々の対応を実施しましたが、募集状況を改善することができずになりました。今後、学部学科構成を維持しながら状況が改善することは厳しいと判断して、平成26年度入学生をもって、科学技術学部科学技術学科は募集停止としました。また、人文学部表現文化学科、現代社会学科、心理学科を母体とした改組改編を実施して平成27年度より教養学部地域教養学科を開設しました。</p> <p>なお、薬学部薬学科については、薬剤師国家試験の高い合格率を維持するための特色ある薬学教育に関する情報提供やスカラシップ入試制度を周知により、平成27年度の入学定員充足率は1.07倍となりました。</p>	

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	既設学部等（いわき明星大学教養学部地域教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  入学定員200人に対して、定員充足率の平均が0.7倍未満（平成27年度：0.45倍（入学者89名）、平成28年度0.5倍（入学者99名））となった原因としては、①東日本大震災及び原発事故の影響が続き福島県外からの入学者が回復しなかったこと、②福島県の高校卒業者の就職状況が好調であり大学進学から就職へシフトする傾向があったこと、③新しい学部のため学部の内容が受験生や高校へ浸透しきれなかったことの3点が考えられる。 平成28年度の学生募集にあたっては、学部の特徴の一つである「地域基盤型職業人の養成」をオープンキャンパス、高校訪問、各種イベントを通じて理解・促進を図るとともに、大学ホームページ、各種広報媒体を通じて積極的にPRを行った。 また、対受験生だけではなく、地域社会との連携の緊密化を図るために発足させた「地域連携協議会（いわき明星大学と地域の高校及び地域の企業との連携構築のための協議会）」の活動を通じて、地域連携の実績を積み重ねながら、大学と地域との連携構築に努めた。特に地元高校に対しては、学部の教員が高校のキャリア教育に協力し、その交流を通じて学部の教育内容・教育方法の理解に努めた。 なお、平成28年度の入学定員数は99人であり、未だ定員充足には至っていないが、平成27年度の入学定員数89人と比較すると10人増加した。	いわき明星大学は、平成29年度開設を目的として、看護学部の設置を計画しており、平成28年3月31日に設置認可申請を行った。看護学部の入学定員は80人を計画しており、教養学部の入学定員200人から定員を振り替える計画である。 看護学部が認可された場合には、教養学部の入学定員を80人減じて120人とする予定である。 教養学部では入学定員の減と併せて、学生を確実に確保するため、「地域連携協議会」における参画高校との連携強化をはじめ、本学独自の大学説明会の実施、オープンキャンパスの実施回数増、高校教員・高校生保護者を対象としたキャリア講演会の実施、在学生によるいわき駅前サテライトオフィスを活用した広報活動の実施など、教養学部のさらなる理解促進、浸透を図るための取組みを実施する。 また、高大接続の一環として、教養学部学生と高校生による「地域の将来」をテーマとした連携授業をはじめ、教養学部教員による「地域と社会」「震災復興」をテーマとした出張講義、教養学部の初年次教育科目の高校教員への授業公開を実施することにより、高校との連携・交流に努める。 なお、県外からの学生を確保するために、引き続き大学ホームページやSNSを利用した「教育環境の安心・安全」を呼びかけることとする。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <デザイン学部 デザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」（別紙1）を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### 平成25年度の開催状況

- ・ 第1回全学FD委員会 平成25年 5月22日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第2回全学FD委員会 平成25年 6月 6日(木) 教員参加人数12名
- ・ 第3回全学FD委員会 平成25年 7月 4日(木) 教員参加人数12名
- ・ 第4回全学FD委員会 平成25年 9月 5日(木) 教員参加人数11名
- ・ 第5回全学FD委員会 平成25年10月 3日(木) 教員参加人数12名
- ・ 第6回全学FD委員会 平成25年11月 7日(木) 教員参加人数12名
- ・ 第7回全学FD委員会 平成25年12月 5日(木) 教員参加人数10名
- ・ 第8回全学FD委員会 平成25年 1月 9日(木) 教員参加人数10名
- ・ 第9回全学FD委員会 平成26年 2月 6日(木) 教員参加人数12名
- ・ 第10回全学FD委員会 平成26年 2月25日(木) 教員参加人数12名

###### 平成26年度の開催状況

- ・ 第1回全学FD委員会 平成26年 5月14日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第2回全学FD委員会 平成26年 6月 5日(木) 教員参加人数11名
- ・ 第3回全学FD委員会 平成26年 7月 3日(木) 教員参加人数11名
- ・ 第4回全学FD委員会 平成26年 9月 4日(木) 教員参加人数10名
- ・ 第5回全学FD委員会 平成26年10月 2日(木) 教員参加人数10名
- ・ 第6回全学FD委員会 平成26年11月 6日(木) 教員参加人数10名
- ・ 第7回全学FD委員会 平成26年12月 4日(木) 教員参加人数 9名
- ・ 第8回全学FD委員会 平成27年 1月 8日(木) 教員参加人数11名
- ・ 第9回全学FD委員会 平成27年 2月12日(木) 教員参加人数11名
- ・ 第10回全学FD委員会 平成27年 3月19日(木) 教員参加人数 9名

###### 平成27年度の開催状況

- ・ 第1回全学FD委員会 平成27年 5月13日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第2回全学FD委員会 平成27年 6月 3日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第3回全学FD委員会 平成27年 7月 1日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第4回全学FD委員会 平成27年 9月 2日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第5回全学FD委員会 平成27年10月 7日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第6回全学FD委員会 平成27年11月11日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第7回全学FD委員会 平成27年12月 2日(水) 教員参加人数10名
- ・ 第8回全学FD委員会 平成28年 1月13日(水) 教員参加人数11名
- ・ 第9回全学FD委員会 平成28年 2月 3日(水) 教員参加人数11名
- ・ 第10回全学FD委員会 平成28年 3月 2日(水) 教員参加人数11名

## 平成28年度の開催状況

- ・第1回全学FD委員会 平成28年 5月19日(木) 教員参加人数10名
- ・第2回全学FD委員会 平成28年 6月 8日(水) 教員参加人数10名
- ・第3回全学FD委員会 平成28年 7月 6日(水) 教員参加人数 8名
- ・第4回全学FD委員会 平成28年 9月14日(水) 教員参加人数10名
- ・第5回全学FD委員会 平成28年10月 5日(水) 教員参加人数10名
- ・第6回全学FD委員会 平成28年11月 9日(水) 教員参加人数10名
- ・第7回全学FD委員会 平成28年11月30日(水) 教員参加人数10名
- ・第8回全学FD委員会 平成29年 1月11日(水) 教員参加人数 9名
- ・第9回全学FD委員会 平成29年 2月 1日(水) 教員参加人数10名
- ・第10回全学FD委員会 平成29年 3月 1日(水) 教員参加人数10名

## c 委員会の審議事項等

### 全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムでの活動について
- (4) 授業公開について
- (5) FDハンドブックの作成について

### 部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

## ② 実施状況

### a 実施内容

#### 全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について
- ③ 主体的な学びについて
- ④ 他大学とのFD情報の共有
- ⑤ 学修支援体制の構築

#### 平成28年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」
- ⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」

### b 実施方法

#### 全学的FDの取り組み

##### ① 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、公益財団法人八王子セミナーハウス主催の新任教員研修に参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

##### ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について

教育の質保証サイクルをしっかりと回すために、現行の人材養成の目的を敢えて見直し、それに紐づく3ポリシーを現行の教育課程の状況をアセスメントして策定し直し、2ヵ年計画で実施した。平成26年度にDP、CP、APの規程化を完了している。CPの部分については、カリキュラムMAPを策定し、開設科目の順序性、及び整合性を示すことが出来るよう部局毎総意で決めた。平成27年度以降も継続して意見交換を行い、平成28年度には学外講師を招聘した研修会も実施した。

##### ③ 主体的な学びについて

学生が主体的な学びをする為に、学内の事例を共有し、且つ一般的にはどのように考えられているかについて、平成26年度は他大学の講師を招聘し、学内で共有した。成績評価の厳格化から授業手法等多岐に渡る内容を情報共有し、まずはそれぞれの教員が参考にして実践していくこととした。平成27年度、平成28年度は、1年生と3年生に実施しているアセスメントテストの結果をもとに、如何にして本学の学生の特徴を主体的な学びに結びつけるかの示唆を得た。

##### ④ 他大学とのFD情報の共有

FDの実践について、他大学での情報を多く探る機会が増大したことによって、よりスムーズな情報共有が必須となってきた。私立大学FD連携フォーラムの懇談会、総会などに参加し、得た情報を全学FD委員会に展開した。

##### ⑤ 学修支援体制の構築

平成28年度には学修支援体制の見直しに係る議論を学部長会、教授会を通じ全学的に行い、各学部学科での学修支援指導計画の検証をおこなった。

#### 平成28年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」  
講演 講師 関西国際大学 濱名 篤 学長

- ⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」  
講演 講師 明星学苑 小川 哲 副理事長、明星大学 佐々井 利夫 副学長、  
明星教育センター 菊地 滋夫 センター長

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会

新任教員全員が参加した。

②人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について

平成26年度までに全教員が参画して策定した3ポリシーの活用につき検討を行い、平成28年度には外部講師も招聘し、これまでの取組の見直しを行った。平成29年度には、PDCAサイクル確立に向けて、引き続き改善を図る予定である。

③主体的学びについて

どうしたら学生が能動的自律的学習者になるか、についての議論が主であり、全学FD委員会での議論をFD研修会に絡めて議論した。

④他大学とのFD情報の共有

FDフォーラムなど、逐次情報共有した。私立大学FD連携フォーラムでは、本学教職員が参加して、3ポリシーの活用について、具体的な意見交換を行った。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況

【前期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開  
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開  
人文学部 …2名、10科目公開  
経済学部 …全教員、40科目公開  
デザイン学部 …全教員、全科目公開

【後期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開  
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開  
人文学部 …2名、11科目公開  
経済学部 …全教員、39科目公開  
デザイン学部 …全教員、全科目公開

平成28年度 全学FD研修会の実施状況

⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」

参加者 127名

⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」

参加者 142名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

近年は、徐々にではあるがFDの理解も高まり、教職員間でも必要性が認識されてきた。ただし、かならずしも十分とはいえず、更なる全学的な取り組み、及び意識の高揚のため、さらなる全学的な検証が必要である。引き続きFD活動を通じて意識改革を図ることに加え、全学的な体制も、状況に応じて見直しを行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：平成23年度～平成29年度）。

・平成29年度末に現在の認証評価期間が終了することから、本学では平成28年度末に公益財団法人大学基準協会に対し大学評価に係る申請書類の提出を終えた。今後平成29年度は、同協会による大学評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成 29年 7月28日 )

## 明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

(趣旨)

**第 1 条** この規程は、明星大学学則（昭和 39 年 4 月 1 日）第 61 条第 2 項、明星大学大学院学則（昭和 46 年 4 月 1 日）第 49 条第 2 項、明星大学通信教育部学則（昭和 42 年 4 月 1 日）第 57 条第 2 項及び明星大学通信制大学院学則（平成 11 年 4 月 1 日）第 40 条第 2 項に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定める。

(FD 活動の組織)

**第 2 条** FD 活動は、以下の組織単位でこれを行う。

- (1) 全学で行う FD
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程で行う部局別の FD
- (3) その他、必要に応じて学科等で行う FD

(FD 委員会の組織)

**第 3 条** 前条の目的を達成するために、以下の委員会を置く。

- (1) 全学 FD 委員会
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程等における部局別 FD 委員会
- (3) その他、必要に応じて置かれる FD 委員会

(全学 FD 委員会の任務)

**第 4 条** 全学 FD 委員会の任務は、次の各号に定める通りとする。

- (1) 全学的な FD 活動のための基本方針の策定
- (2) 全学的な FD 研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (3) 新任教員に対する全学的な FD 研修
- (4) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
- (5) 部局による FD 研修への協力・助言
- (6) その他全学的な FD に関連する事項

(全学 FD 委員会の組織)

**第 5 条** 全学 FD 委員会は、次の各号に定める者をもって組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
- (2) 各学部の教務委員長
- (3) その他、学長が指名する教職員若干人

2 前項第 1 号及び第 2 号に定める委員の任期は、その職制にあるうちとする。

3 第 1 項第 3 号に定める委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

(全学 FD 委員会の運営)

**第 6 条** 全学 FD 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、学長が指名した副学長とする。

- 3 副委員長は委員の互選により選出する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 委員長に支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めたとき、委員会に委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 7 全学 FD 委員会の事務は、教務企画課が行う。  
(部局別 FD 委員会の任務)

**第 7 条** 部局別 FD 委員会の任務は、次の各号に定める事項とする。

- (1) 部局の FD 研修の企画、実施、評価、改善及び報告
  - (2) 授業に関する学生アンケートの部局における活用方法の検討
  - (3) その他部局の FD に関連する事項
- 2 部局別 FD 委員会について必要な事項は、各部局で定める。  
(部局別 FD 委員会の組織)

**第 8 条** 部局別 FD 委員会は、各部局別に次に定める者をもって組織する。

- (1) 学部 FD 委員会
    - ア 学部長
    - イ 学部の互選により選出された者
    - ウ 学部長が指名する当該学部所属教職員
  - (2) 研究科 FD 委員会
    - ア 研究科長
    - イ 研究科の互選により選出された者
    - ウ 研究科長が指名する当該研究科所属教職員
  - (3) 全学共通教育 FD 委員会
    - ア 全学共通教育委員会委員長
    - イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
    - ウ 全学共通教育委員会委員長の指名する全学共通教育委員会所属教職員
  - (4) 通信教育部 FD 委員会
    - ア 通信教育課程長
    - イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
    - ウ 通信教育課程長が指名する教職員
- (雑則)

**第 9 条** この規程に定めるもののほか必要な事項については、大学評議会の議を経て、学長が定める。

(改廃)

**第 10 条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

**附 則**

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デザイン学部デザイン学科

デザイン学部は、平成26年4月の造形芸術学部の改組によって開設され、今年度で完成年度を迎える。以下に平成28年度の状況を中心に、総括評価と所見を記す。

### 1. 定員充足率

前身である造形芸術学部の最後の数年間は入学定員を満たせない状態が続いていたが、デザイン学部は開設以降、入学定員120名に対して、平成26年度は125名(定員充足率103%)、平成27年度は128名(定員充足率107%)、平成28年度は127名(定員充足率106%)、そして平成29年度は132名(定員充足率110%)の入学者を迎え、定員充足率については全く問題がない。

一方、志願者数については、2年目3年目と連続して微減の傾向が見られたが、平成29年度入試では、前年度総志願者数350名に対して620名(前年度比177%)と躍進した。特に年明けの一般入試・センター利用入試は、前年度251名に対して518名と前年度比200%を超え、合格者の最低得点率も前年度よりもさらに10ポイント近く上昇した。

### 2. 科目内容・授業運営のチェック機能

デザイン学部では設置届出時に文部科学省に提出した科目概要に基づき、非常勤講師の科目を含めた全科目の授業内容の詳細を、担当教員の教案をもとに、専任教員全員で検討・協議しながら確定している。

また学科内FDとして、各科目の実際の運営状況について、前期と後期にそれぞれ、授業の中間報告会と結果報告会を行ない、さらに前期・後期の授業終了後には、非常勤講師も全員招聘して「拡大FD」を開催し、科目の実施報告の機会を設けたり、質疑応答を通じて問題点や改善策を見つけ出し、翌年度のシラバスに反映している。

### 3. 平成28年度開設科目の主要な成果

デザイン学部の最大の特徴は、理論科目や技術科目や専門分野の科目よりも上位に、「企画表現科目群」という1年生前期から4年生前期の7セメスターに渡る必修科目「企画表現演習1~7」を設置して、企画力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を徹底的に養うというシステムの導入である。

特に昨年度前期には、地域活性化プロジェクトとしての「企画表現演習5」が初めて開講され、地元である日野市役所からの正式な依頼の元、3年生全員がこれまで学んできた調査・分析、企画立案、プレゼンテーション等の技術を総動員して、学外に向けた地域活性化のための企画提案の発表会を行った。その反響は大きく、そのうち7つの企画提案について市が予算を確保し実現する結果となった。

また学生側の達成感も計り知れないものがあったことが、最終レポートのコメントから伺える。

(以下、履修者のレポートからの抜粋)

「企画力やデザイン力もそうだが、人として大きく成長できた授業だと思った」

「一生の財産になるなと思いました。20年間生きてきた中で一番頑張ることのできた時期となりました」  
「1年生の時の自分とは比べられないくらい、技術の面でも心の面でも成長できたと思う」  
「今回はデザイン学部みんなでやった、という達成感を未だに感じています」  
「今回の企画表現演習は学校内で完結するのではなく、社会の人にプレゼンテーションするという事を途中で意識しだし、責任感や焦燥感が増し、それによって積極的に取り組むことができ、本当に日野市に活気付いて欲しいと思うようになりました」  
「無理だと思っていた事でも、諦めずにやり通せばできるんだと、学生だって市を動かせるんだと気付きました」

1年次から続く、徹底的なアクティブ・ラーニングによって、徐々に学生の自主的な取り組み態度が醸成され、それが大きな成果として目に見える形で現れたことによって自信につながると共に、社会に対する関心がさらに高まり、就職活動へのモチベーションにも確実に結びついている。

#### 4. 就職

デザイン学部では、従来のモノづくり偏重の教育を脱して、今日の社会やデザインの現場で本当に求められる企画力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を重視し、「就職・現場に強いデザイン学部」を設置趣旨・目的の根幹として掲げており、カリキュラム全体を通じて、常に学生たちに就職や実社会の現場を意識させるような科目立てと授業運営を行っている。さらに昨年度の後半から、「進路ゼミ」と名付けて全専任教員が約10名ずつ学生を受け持ち、3年生（現4年生）対象に進路相談をする機会を設けている。

完成年度となる今年度、いよいよその成果が問われるが、学生の就職や社会に対する意識は、前身である造形芸術学部とは比較にならないほど高い。就職戦線が始まって間もない4月の段階では、明星大学の全学部の中でも、デザイン学部の学生が最も積極的に就職活動に取り組んでいるとの学内報告もされており、現時点とはいえ、設置の趣旨と目的が間もなく達成されることを強く期待させるものである。

#### 5. 地域との連携

明星大学は大学全体としても地域連携を大切にしているが、デザイン学部では特にこれを重視し、授業の中でも地元日野市を中心とした多摩地域をフィールドに、実践的な体験教育を行なっている。3年前期の必修科目である上述の「企画表現演習5」はその最たるものであるが、続く3年生後期の選択科目である「視覚デザイン・生活デザインコラボレーション」では、(株)フジテレビジョンの協力を得て、学生たちに地域を紹介する模擬番組の制作を行なわせた。

また、大学構内での公開講座として、平成26年12月に「地域に活かすデザインの力」、27年12月に「仕事とデザイン」、28年11月には「教育とデザイナー-これからの社会に活かす これからのデザインの学び方-」と題し、多摩地域でユニークな仕事をしている経営者やデザイナーと専任教員を交えたシンポジウムを開催してきた。今後はそれを拡大してワークショップ等も行い、より具体的にデザイン学部の知財を地域に供し得るような連携策を考えていくことにしている。

## 6. 国際交流

前身の造形芸術学部では、国際交流の機会がなかなか作れずにいたが、デザイン学部では、平成27年12月に台湾の樹徳科技大学のデザイン学部の訪問と国際交流のオファーを受けたことを機に、平成28年5月にデザイン学部長が3年生5名を引率して、台北で開催される世界最大級のデザインイベントYODEX（ヤングデザイナーズエキスポ）を視察すると共に、樹徳科技大学のブースでの国際交流を実施した。その後10月に明星大学において、両校のデザイン学部の提携について正式な調印式を執り行った。

## 7. 総括および今後の課題について

<入り口：入試・入学について>

初めに述べたように学部開設以降、定員充足率は問題なく、志願者数が微減状態にあったことも完全に解消され、倍率・得点率も上昇した。年度を追うごとにオープンキャンパス等で展示できる学生の成果物も充実してきた。特に、学生たちが高校生や父兄の前で披露する授業のプレゼンテーションの再演やトークは非常にインパクトが高く、学部のカリキュラムの独自性や実践力が効果的に伝わっている。

また専任教員5名が広報担当となり、毎週検討委員会を開くとともに、全科目の授業の様子の撮影を徹底してきたため、学科パンフレット・学科ホームページなども充実し、学科の特徴を明快に伝えられる媒体になっている。

<中身：カリキュラム・授業運営について>

デザイン学部のカリキュラムは全て予定通り開講されて完成年度を迎えることができた。また毎年実施される全学的な授業アンケートの結果も良好である。

平成28年度のアンケート中、「授業内容の理解度」について、「よく理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせた数字は、前期89.4%、後期89.0%と安定して非常に高い。これは教員間で授業改善のための意見交換を恒常的に実施している結果と考えられる。

「授業の良かった点」についても、「授業の内容」を選択した割合が、前期59.9%、後期61.1%で、どちらも全学1位である。平成26年度の学部開設以降、最も高い数字となった。

「1回の授業あたりの予習・復習時間」について、「60分以上」と回答した率は前期21.8%（全学平均10.1%）、後期29.0%（全学平均11.4%）で、特に後期は全学で最も高い数字となった。ただしデザイン学部の演習・実習科目では、毎回次の授業のために相当の準備が要求されるため、実際には学生はアンケート結果よりもはるかに多くの授業時間外での学習を行っていることは間違いない。

<出口：卒業・就職について>

完成年度を迎え、「就職・現場に強いデザイン学部」を掲げてきた当学部にとっては、初めて就職というカタチでその実績を示すときが来たが、前述のように学生の意識も高く、スタート時点で内定率は全学部で最も高い。コミュニケーション力やプレゼンテーション力を徹底的に鍛えてきているため、面接やグループ面談などでも物怖じすることがなく、就職活動に際しても大きな力になっている。

また技術面では、特定分野の技術だけを教えているわけではないので、例えば「プロダクトデザイン」「ファッションデザイン」というような個々の限定分野では、それだけを学んできた他大学の学生ほどの技術力は身につけていない。その代わりに、いわゆるデザイン分野を超えた「汎用的スキル」と、どんなデザイン分

野においても最終的に最も必要となる「企画力」を身につけているので、今後社会がどのように変化したとしても対応できるものと考えている。

昨年度も「インターンシップ」の科目で、明星大学の広報媒体なども手がけている印刷会社で2名の3年生がインターンシップをした際に、会社側の計らいでポスターの企業コンペに参加させてもらったが、結局その2名の案がコンペで1位通過と2位通過になり、実際のポスターになるという快挙が報告された。

上記のことから、デザイン学部の設置の趣旨・目的は、あらゆる側面でほぼ完全に達成できたと評価できる。

一方、4年間を通じて見えてきた今後の課題として、以下のことが挙げられる。

- ① 特に1年次に、基礎力としての画像編集ソフトやイメージ編集ソフトの操作の習熟度、および文章力をさらに徹底的に高めるため、「デザインにおける基礎力とは何か」について改めて精査し、科目立てや内容を改善する必要がある。その他、開講年次を入れ替えた方がより高い教育効果に結びつきそうな科目や、映像表現に関する科目など新たに設置すべき科目がある。
- ② カリキュラム運用を通じて、履修希望者が多すぎた場合の制限の方法など、履修のルールについて改善すべき点がある。
- ③ 本学部はこれまでの美大系の教育とは一線を画したカリキュラムによって、非美大系の受験者層の獲得を目指しているが、高校生向けのイベント等では、従来の美術・デザイン系分野の学部として分類されてしまい、本来獲得すべき層に学部の設置の趣旨・目的を伝える機会がいまだに十分とは言えないため、対策を講じる必要がある。

以上の課題については、昨年度新たに設置した学科内の「将来構想委員会」の中で、すでに専任教員全員で協議・検討を始めており、今年度末までに詳細を確定する予定である。